



Web Fairy

第119号 Paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第100回 WFP 作品展3作(解答延長)
- ・ 第101回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第102回 WFP 作品展
- ・ Fairy of the Forest #55

結果発表

- ・ 第100回 WFP 作品展(一人一作展)

読み物

- ・ FairyTopIX2017 お気に入り投票結果
- ・ 自然数を2つの整数の平方の和で表す(神無太郎)
- ・ タイトル戦が高槻に(神無七郎)

(改訂:2018/5/29)



2018/5

はじめに



GW

今年のゴールデンウィークは数日休みが取れたので日帰りで姫路に遊びに行きました。お城は好きなので西日本の有名所の城はまあまあ行っているのですが何故か姫路城には縁がなく(?) 人生還暦前で初めての白鷺城。大改修直後だともっと白かったようですが、外から見る天守閣は圧巻でした。しかしながらGWに行くという愚行で天守閣に入るのに大行列。年を取ると待つのも疲れます。その後映画のロケ地で有名な書写山円教寺に行きましたが、こちらはお勧めですね。空気も澄んでいて心地よい散策が出来ました。「ほほ～、ここにトム・クルーズが座ってたんだな～」なんて台詞は場違い感ありました。

その後美味しいものでも食べようと、姫路といえばアナゴということで、いろいろ調べて「終」というお店へ行ったのですが、こちらのひつまぶしは絶品でした。そのまま食べた穴子が美味しかったので、最後にダシを掛けてお茶漬けにして食べるのは勿体無いなあと考えたのですが、そのお茶漬けも最高に旨かったです。姫路に行かれた方は是非食してみてください。



作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第119号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<http://d.hatena.ne.jp/sengyotei/>

第101回WFP作品展(再掲)及び 第102回WFP作品展

担当：神無七郎

伊藤看寿 作

詰将棋 35手

										一
										二
		皇	將							三
										四
		香								五
皇			と	香						六
						銀		龍		七
ス	香	馬	香			ス				八
		歩	香	王	銀			龍		九

持駒 金2銀

(将棋図巧73番,宝暦5,不詰)

- 58金 同金 48銀打 同金 58銀 同玉
 - 57金 同玉 56馬 58玉 57金 68玉
 - 67金 79玉 57馬 78玉 69龍 87玉
 - 77金 同玉 67龍 86玉 68馬 85玉
 - 87龍 94玉 95馬 同玉 84銀 94玉
 - 96龍 84玉 85香 74玉 94龍 まで 35手
- (※4手目同馬で不詰)

延び延びになっていた Worst1.exe の最新版 (1.86 版) を今月初めにようやく公開することができました。今回の目玉は「kif形式のファイルに作意を入れておくと、不詰のときに不詰箇所を明示する」というものです。

今まで不詰の時には「詰みませんでした」というぶっきらぼうなメッセージが出るだけで、何が原因で不詰になるのか分かりませんでした。今回は不詰の時に、作意のなるべく末端の方の不詰の変化を示すようにしています。複数の不詰箇所があった場合、それを全部リストアップしても良かったのですが、今は一箇所のみをしています。

また、作意は不詰でも作意以外の詰がある場合、その詰手順を検出するようにしています。

元々 Worst1.exe の 1.80 版に「手順指定」の機能を付けた目的の一つが「不詰箇所の指摘」だったので、1.80 版を公開した 2017 年 2 月から 1 年 3 ヶ月も掛かって、ようやく目的を達成したことになります。まるで亀の歩みですね。

Worst1.exe は最悪詰の検討プログラムですが、普通詰将棋に対して用いることもできます。ただし Worst1.exe で扱うのは「最善詰」なので、不詰検討には注意が必要です。

例えば作意や変化に「無駄合」が含まれていた場合、合駒をした時の手数を足しておく必要があります。また、単なる「手数稼ぎ」の見落としとしても、それが不詰として検出され、もっと重大な不詰を出力しないことがあります。従って、普通詰将棋の不詰を検出させたい時は、手数を余分に指定します。

ここでは不詰作の例として「将棋図巧 73 番」を用い、手数を「999 手」にした結果をご覧ください。無駄合対策だけなら、手数は「41 手」で良いのですが、「不詰」とされていた筋に長手数の詰筋がある可能性も考慮して、多めの手数を与えます。



「詰みませんでした」の行の後に、具体的な手数と不詰となる変化が出力されていることを確認してください。

実際に読んだ最大の手数を出力していないので、厳密に言えば 1001 手以上の詰筋がないとは断言できないのですが、実用上はこれくらいの手数で検討すれば充分でしょう。

せっかく実装した機能ですので、皆さんの創作や研究に活用していただければ幸いです。

なお「図巧 73 番」には受方「28 と」を追加する二峯生氏の修正案が示されています。鑑賞はその修正案で行うと良いと思います。

さて、今回の WFP 作品展は第 101 回の再掲分と、第 102 回の新規出題分です。第 102 回は解答募集期間が通常よりも一ヶ月長くなります。

また、これとは別に第 100 回の作品のうち、解答者ゼロ（または作者のみ正解）となった作品の再出題を別項で行います。この再出題分は第 101 回分・第 102 回分への影響を減らすため、7 月 15 日を解答締切に設定しています。

以上、かなり変則的なスケジュールですので、「WFP 作品展：今後の予定」の項で日程をご確認ください。

〔第 101 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 101 回の出題は 14 題。内訳は神無太郎氏 3 題、尾形充氏 1 題、占魚亭氏 1 題、Pontamon 氏 2 題、変寝夢氏 4 題、たくぼん氏 3 題です。作稿の都合上、作品は投稿順に並んでいます。並び順と難易度は関係ありません。

101-1～101-3 は神無太郎氏の中立駒作品。玉を除く標準駒がすべて中立駒になっている設定です。中立駒は敵駒でもあるので、双玉の場合、うっかり自玉へ王手していないか注意してください。

101-4 は尾形充氏の作品。本局の「打歩」は打歩詰以外の詰みを「失敗」とする「単純打歩」ではなく、「禁手」とする「完全打歩」です。「禁手」判定が再帰的に行われることにも留意して解いてください。

101-5 は占魚亭氏の Imitator 作品。受先形式の出題なので、自由に指せる受方の初手を有効に活用してください。

101-6 及び **101-7** は Pontamon 氏の推理将棋。特定の手で全体の棋譜を再現させる「虫食い算」型の推理将棋です。**101-6** には 4 手目に関する指定もありますが、**101-7** は本当に最終手だけしか指定がありません。虫食い算の「孤独の 7」を連想させますね。皆さんの推理で欠けた棋譜を補ってください。（※追記：101-7 は余詰のため条件追加。一条件ではなくなりました）

101-8～101-11 は変寝夢氏の作品。今回は Knight、レトロ、リパブリカン、中立駒に加え、久々に「ヘルプセルフ」が登場しています。「ヘルプセルフ」というのは、途中までは協力するのに、最後だけ急に態度を変えて目的達成に抵抗するルールです。

101-11 で具体的に説明しましょう。

これは「ヘルプセルフ」の条件がなければ「76 角 同玉 32 角 同龍 まで 4 手」のような手順で自玉をスタイルメイトにできます。ところが、「ヘルプセルフ」の条件があるために、上記手順の最終手で「同龍」としてくれません。玉が逃げたり、合駒したりして抵抗するのです。つまり、最後の最後で「手のひら返し」をされても大丈夫な手順で自玉のスタイルメイトを目指す必要があるのです。もちろん、途中までは協力してくれます。

101-12～101-14 はたくぼん氏の作品。安南と強欲という得意分野での登場です。**101-14** はあくまで「強欲詰」です。「強欲協力詰」ではないので受方は協力してくれません。ちゃんと変化を読んで不詰筋を避けてください。

〔第 102 回作品展各題への補足説明〕

第 102 回の出題は 14 題。内訳は Pontamon 氏 2 題、占魚亭氏 3 題、神無太郎氏 3 題、たくぼん氏 1 題、青木裕一氏 2 題、変寝夢氏 3 題です。作稿の都合上、作品は投稿順に並んでいます。並び順と難易度は関係ありません。

102-1 及び **102-2** は Pontamon 氏の推理将棋。当初は別の推理将棋の予定でしたが、解答募集期間の長い今回向けにちょっと難解な作に差し替えとなりました。（余計なことをするなという解答者の声が聞こえそうですが…）

文中に「飛頭」「飛尻」という聞き慣れない言葉が出てきますが、意味は分かると思います。例えば先手 28 飛を基準にすると、27 が「飛頭」、29 が「飛尻」です。

102-3 及び **102-4** は占魚亭氏の Imitator 作品。共に受先形式なので、受方の初手が重要です。形はそっくりですが、手順に関連性がないので、ツインとはしませんでした。

102-5 も占魚亭氏の Imitator 作品ですが、この作には AntiAndernach という要素が加わっています。AntiAndernach は駒を取らない盤上の移動で所属が変わってしまうルールのため、王手すら掛けるのが難しいルールです。本局では香の王手に合駒をして、それを取るしか王手が続かないので、冒頭 3 手のパターンは絞られます。果たして合駒は何で、どんな詰上りを目指すのでしょうか？

102-6～102-8 は神無太郎氏の中立駒作品。例によって標準の駒がすべて中立駒になっている設定なので、合駒も中立駒ということですね。

元々は「氾濫 48」向けに作られた作なので、古典詰将棋との関連付けがあります。ヒントの代わりにその対応を示しましょう。

102-6：将棋大綱 86 番

102-7：象戯造物 31 番

102-8：将棋図巧 49 番、将棋玉図 5 番

102-9 はたくぼん氏のツイン。図が同じでルールだけが異なる組局です。これも「氾濫 48」向けの投稿をこちらに回して貰ったものです。元ネタはずばり将棋図巧 98 番。易しいとは思いますが、どちらも最善詰なので、変化をきちんと読んでください。

102-10 及び **102-11** は青木裕一氏の作品。

102-10 はレトロ協力詰めですが、「実戦初形から到達可能な局面であること」という条件が付いています。直接この条件が適用されるのは逆算した局面ですが、逆算手順も詰手順も合法手なので、結局は全局面にこの条件は適用されます。なお、本作品展では「実戦初形から到達可能な局面であること」という条件は暗黙には仮定しません。必要な場合は必ず明示して出題します。

102-11 は透明駒を使った作品。透明駒の枚数は何と受方 36 枚！ 攻方の駒は 4 枚ですから、受方玉も透明駒になっているわけですね。まさに「捉えどころがない」構図ですが、受方の協力ですぐ上手く可能性を絞り込んでください。

102-12～**102-14** は変寝夢氏の作品。

102-12 は中立駒を使ったレトロ協力詰です。**102-10** と異なり実戦初形への逆算可能性は要求されません（というより、不可能です）。

102-13 は中立駒を使ったりパブリカン協力自玉詰。ここ最近の変寝夢氏の作品の傾向から詰上りにヤマを張ると良いと思います。

102-14 は Siren（汝と表記）という WFP 作品展初登場のフェアリーチェスの駒を使った作品です。Siren は日本では「セイレーン」と呼ばれることが多く、筆者はドビュッシーの「夜想曲」の 3 曲目「シレーヌ(Sirènes)」を思い出します。まあ、呼び方はともかくとして、駒の性質を簡単に説明しましょう。

Siren は駒を取る時と取らない時の動きが異なるのが特徴です。これは Pawn と同じ性質ですが、動きはかなり派手で、駒を取らないときは Queen、駒を取るときは Locust の動きをします。Siren の解図経験がない方（ほとんどの人がそうだと思います）は、盤上に配置された

Siren を持駒の Locust にして考えると、有力なヒントが得られると思います。

Locust の解図も未経験の方は WFP 作品展の過去問を参考にしてください。**48-1**、**59-1**、**60-7**、**73-9**、**74-7**、**78-6**、**79-6** で Locust が登場しています。特に最初の **48-1** は一番参考になるでしょう。Siren が Locust の動きをする時の解答表記もこの時の解答表記の流儀で行う予定です。

解答要項

第 101 回分解答締切:2018 年 6 月 15 日(金)

第 102 回分解答締切:2018 年 8 月 15 日(水)

宛先：**k7ro.ts@gmail.com**（メールの件名に「解答」の語句を入れてください。）

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じ **k7ro.ts@gmail.com** へ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

WFP 作品展：今後の予定

7 月は「氾濫」結果稿の作成と重なるため、6 月号の新規出題はお休みさせていただきます。また、今月は第 100 回のうち解答者ゼロとなった作の再出題があり、変則的なスケジュールとなっています。

今後の予定は以下のようになっていますので、あらかじめご承知ください。

	5月	6月	7月	8月
第100回(再)	再掲	再掲	結果	
第101回	再掲	結果		
第102回	出題	再掲	再掲	結果
第103回			出題	再掲
第104回				出題

ルール説明

※WFPのページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule97.pdf>)があるので、それも参考にしてください。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横にnを付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【打歩】

打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される(完全打歩)。

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。このImitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【受先】

受方から指し始める。

【推理将棋】

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

【レトロ -m+n手】

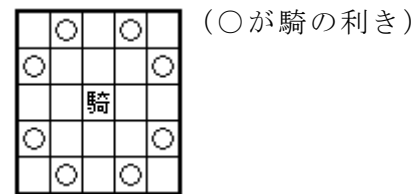
m手逆算してn手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する。また、指定より短い手数の逆算や短い手数の詰手順が成立する場合、それが優先される。

【Knight】(騎)

チェスのKnight。八方桂。



【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

3 2 1				
				一
	●	●	●	二
	角	桂	香	三

例えば左図で、
12香や11香成は不可。
22角や11角は不可。
11桂成や31桂成は可。

【ヘルプセルフ】

最終手はどんな応手をされても目的を達成できなければならない。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【AntiAndernach】

駒を取らない盤上の移動（駒を取る及び持駒を打つ以外の着手）を行うと、着手後に相手の駒となる（玉を除く）。

（補足）

- 1) 駒を取らない盤上の移動で二歩になる場合相手の駒にならない
- 2) 駒の向きの転換は成生の選択の後に行われ、成生の選択権は駒を取った側にある
- 3) 駒を取らない盤上の移動の場合に限り、8段目への桂の不成、9段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）

【最善詰】

攻方は受方がなるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

（補足）

- ・いわゆる普通の詰将棋から枝葉（無駄合概念や、駒が余るかどうかで手順に優劣を付ける規則）を取り除き、攻方最短を義務化したもの。攻方最短・受方最長のみが正解で、長手数之余詰は不問。

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

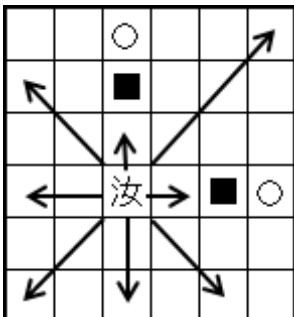
→詳しいルール説明は WFP83 号「透明駒の紹介」を参照のこと。

【Siren】（汝）

フェアリーチェスの Siren（虻）。

駒を取らないときは Queen の動き。

駒を取るときは Locust の動き（Queen 利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る）。



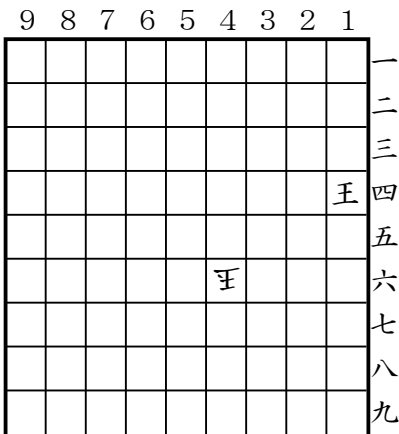
（矢印が駒を取らない時の動き。○が駒を取る時の移動先。

■は敵駒。これを取って○に行く。
■が味方の駒だったり、○の地点が埋まっていたりするとそこには行けない。）

<第 101 回>解答締切:2018 年 6 月 15 日(金)

■ 101-1 神無太郎氏作

協力白玉詰 6手

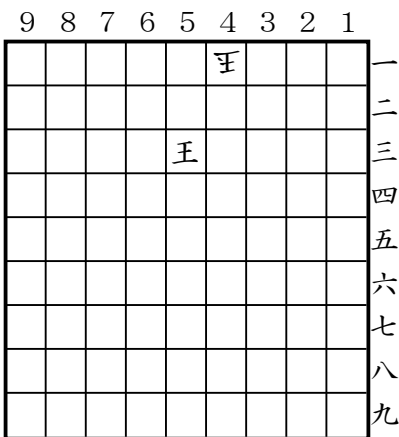


持駒 n角

※玉以外はすべて中立駒

■ 101-2 神無太郎氏作

協力白玉詰 6手

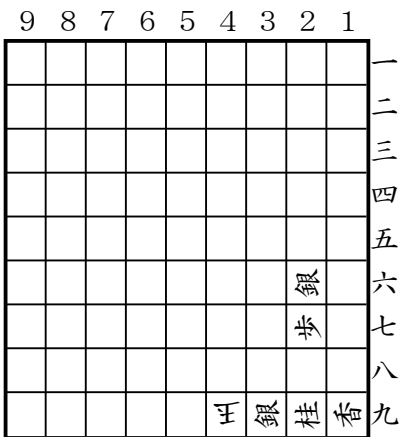


持駒 n角

※玉以外はすべて中立駒

■ 101-3 神無太郎氏作

協力詰 15手



持駒 なし

※玉以外はすべて中立駒

■ 101-4 尾形充氏作

打歩協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
			龍						二
									三
				歩					四
		歩							五
									六
					金	歩			七
						王			八
					王	桂	香		九

持駒 角

※本局の打歩は「完全打歩」

■ 101-5 占魚亭氏作

協力詰 4手 ※受先

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			馬						一
				王					二
				■					三
			銀						四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金

※■:Imitator

■ 101-6 Pontamon 氏作

推理将棋「42角打まで11手」

「42角打の着手で詰めたって？」

「4手目は銀だったけど11手で仕留めたよ」

[条件]

- 1) 11手目の42角打で詰んだ
- 2) 4手目は銀

■ 101-7 Pontamon 氏作

推理将棋「48角打まで12手」

「48角打の着手で詰めたって？」

「同角の手は不成じゃなくて、12手で仕留めたよ。」

[条件]

- 1) 12手目の48角打で詰み
- 2) 同角の手は不成ではなかった

■ 101-8 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
							歩	歩	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 桂騎

※騎:Knight

■ 101-9 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -4+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								王	二
							歩	歩	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 銀

※23歩は中立駒

■ 101-10 変寝夢氏作

リパブリカン協力白玉詰 4手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
			●						三
				王					四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 n角
受方持駒 n香
※角、香は中立駒
●石 (着手不可、不透過)

■ 101-11 変寝夢氏作

協力白玉スタイルメイト 6手
※ヘルプセルフ
9 8 7 6 5 4 3 2 1

								王	一
				驥					二
									三
									四
									五
									六
									七
	王								八
									九

持駒 角2

■ 101-12 たくぼん氏作

安南協力詰 3手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
				王	香				四
		角							五
	飛								六
				飛					七
				角					八
									九

持駒 なし

■ 101-13 たくぼん氏作

安南協力詰 5手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
				香		香			五
				角	王				六
		飛				飛			七
							香		八
						角			九

持駒 なし

■ 101-14 たくぼん氏作

強欲詰 77手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

				と					一
		驥	香		歩				二
		馬	香			香		歩	三
			香			と			四
香	王		香	と	と	桂	香		五
飛	入			と	と	歩		と	六
	入				金		香	と	七
香		金	歩	歩			角	香	八
	桂		桂	歩	桂	香	と		九

持駒 なし



<第 102 回>解答締切:2018 年 8 月 15 日(水)

■ 102-1 Pontamon 氏作

推理将棋『飛頭と飛尻への着手(その1)』

「さっきの、不成なしで 12 手目の初の角成で詰んだ対局だけど、相手の飛頭への着手があったね」
 「それと先手も後手も、自分の飛尻への着手は相手の飛の着手の直後だったね」

[条件]

- 1) 不成なしで 12 手目の初の角成で詰んだ
- 2) 先手も後手も、自分の飛尻への着手は相手の飛の着手の直後だった
- 3) 相手の飛頭への着手があった

■ 102-2 Pontamon 氏作

推理将棋『飛頭と飛尻への着手(その2)』

「さっきの、駒成なしで 12 手目の両王手で詰んだ対局だけど、相手の飛頭への駒打ちがあったね」
 「それと先手も後手も、自分の飛尻への着手は相手の飛の着手の直後だったね」

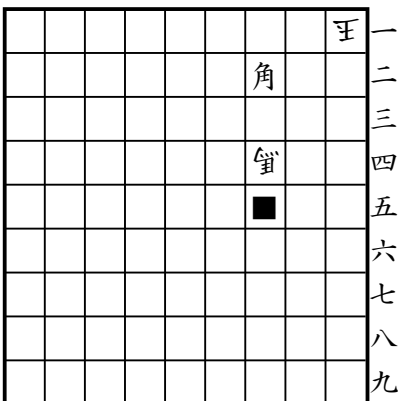
[条件]

- 1) 駒成なしで 12 手目の両王手で詰んだ
- 2) 先手も後手も、自分の飛尻への着手は相手の飛の着手の直後だった
- 3) 相手の飛頭への駒打ちがあった

■ 102-3 占魚亭氏作

協力詰 4手 ※受先

9 8 7 6 5 4 3 2 1

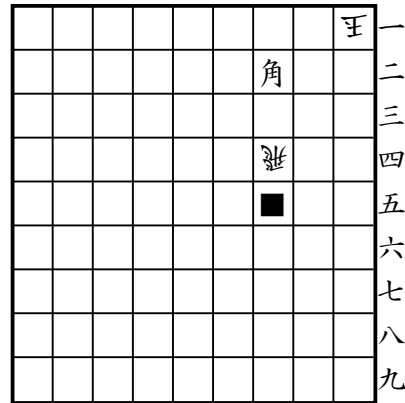


持駒 飛
 ※■:Imitator

■ 102-4 占魚亭氏作

協力詰 4手 ※受先

9 8 7 6 5 4 3 2 1

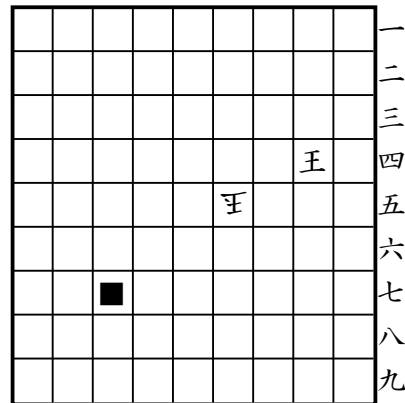


持駒 飛
 ※■:Imitator

■ 102-5 占魚亭氏作

AntiAndernach協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

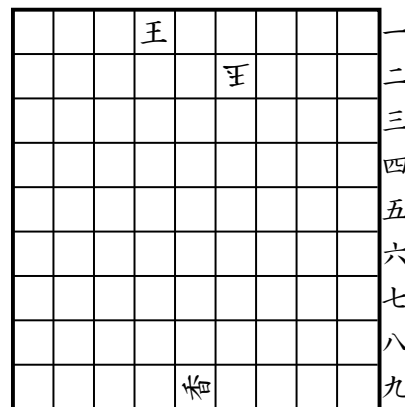


持駒 香
 ※■:Imitator

■ 102-6 神無太郎氏作

協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

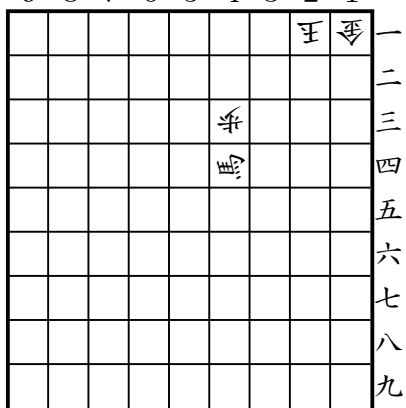


持駒 n桂
 ※双方の玉以外はすべて中立駒

■ 102-12 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



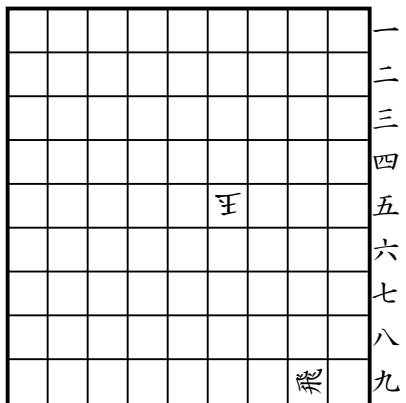
持駒 なし

※44馬は中立駒

■ 102-13 変寝夢氏作

リパブリカン協力白玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 n桂

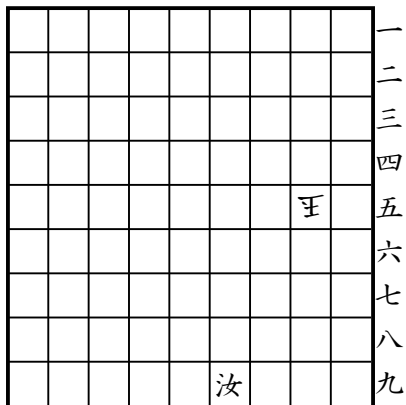
受方持駒 なし

※29飛及び持駒桂は中立駒

■ 102-14 変寝夢氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 なし

※汝:Siren

以上

第100回WFP作品展(一人一作展)(再出題)

担当：神無七郎

本稿は第100回WFP作品展(一人一作展)の再出題稿です。
 正解者ゼロとなった3作(100-1、100-8、100-12)について、再度解答を募集します。
 解答締切も改めて7月15日に設定しましたので、宜しく解答をお寄せ願います。

<第100回(再)>解答締切：2018年7月15日(日)

■ 100-1 神無太郎氏作

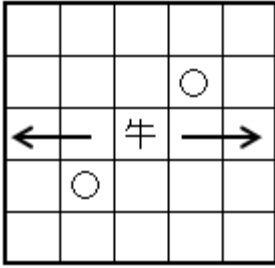
多玉禁欲成禁協力詰 m手

攻方持駒: Bn
 受方持駒: B○○ E○○ F○○ G○○

ルール説明

- ・協力詰：先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。
- ・禁欲：駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。
- ・成禁：詰手順中に駒を成る手があってはいけない。
- ・多玉：複数の玉を使用する。どの玉に対しても王手放置は禁手。
- ・●：●は不透過・不可侵の領域を表す。取ることも通過することもできない。駒というより、マスの性質。
- ・歩B (B)、歩E (E)、歩F (F)、歩G (G)：B、E、F、Gは異種の歩。いずれも「歩」と同じ性能で、同じ筋に二つ以上の同種の駒が存在できず、打歩詰の禁則も適用される。
- ・駒n：持駒の数を(特定の数ではなく)変数nで指定する。
 これにともなって手数指定もnの関数として表現される。
 nが無限大のときにはその駒を無制限に使えることを表す。
- ・横牛(牛)：大局将棋の「横牛」。

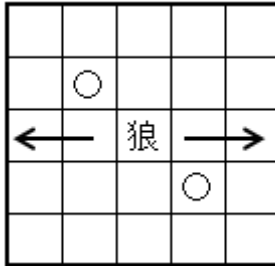
横には自由に走ることができ、斜め右上と斜め左下に一つ動ける。左右非対称の利きが特徴。



(○の地点及び左右へ横牛が動ける。)

- ・横狼 (狼)：大局将棋の「横狼」。

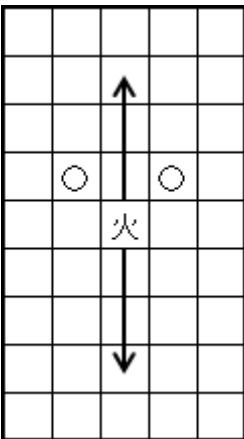
横には自由に走ることができ、斜め左上と斜め右下に一つ動ける。「横牛」とは左右逆の利き。



(○の地点及び左右へ横狼が動ける。)

- ・火将 (火)：大局将棋の「火将」。

前後に三つ、斜め前に一つ動ける。駒を飛び越えることはできない。



(○の地点及び前後へ3つまで火将が動ける。)

[100-1 への補足説明]

神無太郎氏の今回の作品は、第 62 回 WFP 作品展で特別出題された **soga** 氏の作品、及び WFP74 号に掲載された **soga** 氏の「詰将棋コンピュータについての補足」に関する研究をもとに作られたものです。その研究結果は WFP114 号の『「詰将棋コンピュータ」を検証する (I)』で報告されており、元論文の誤記・非限定の指摘、実際に簡単な命令を実行させたときの手数（一つ値を移すだけで約 1 兆手！）等が報告されており、とても興味深いものです。

この作品はその研究の副産物として生まれたもので、**soga** 氏の提唱するプラットフォームに従って、「ある機構」を実現しています。その機構が何かを見抜いてください。

手数は具体的な数値ではなく、「m手」と表されていますが、このmはnの関数になっています。可能であれば一般的なmとnの関係を示す解答が良いのですが、具体的な数で解答されても構いません。その場合、「nが3のとき」及び「nが4のとき」の手順と手数をお答えください。手順は分かる範囲で略記してください。

なお、詰めるべき玉は初形で (50,14) 地点にいます。問題図が見にくい場合、画像ファイルを <http://k7ro.sakura.ne.jp/wfp/wfp100-1.gif> から取得してください。

〔追加ヒント〕

例えば n が 3 のとき（歩 B を 3 枚持っているとき）、以下のように進めることを考えます。

5214 牛 5114F 同牛 5113 玉 5214 牛 5213 玉 5113 牛 5212 玉 5213B 5311 玉
5309 飛 5412 玉 5409 飛 5513 玉 5509 飛 5414 玉 5409 飛 5515 玉 5509 飛 5416 玉
5409 飛 5517 玉 5509 飛 5418 玉 5409 飛 5519 玉 5509 飛 5420 玉 5409 飛 5521 玉
5509 飛 5422 玉 5409 飛 5523 玉 5509 飛 5424 玉 5409 飛 5525 玉 5509 飛 5626 玉
5631 飛 5527 玉 5531 飛 5628 玉 5631 飛 5529 玉 5531 飛 5430 玉 5431 飛 5330 玉
5331 飛 5230 玉 5231 飛 5130 玉 5131 飛 5029 玉 5031 飛 4928 玉 4728 狼 4828 F
同狼 4827 玉 4728 狼 4727 玉 4827 狼 4626 玉 …

一見、それらしく進んでいるように見えますが、61 手目の「同狼」は指せません。

なぜなら、この時点で持駒には「歩 B」が 2 枚あり、「禁欲」の条件により、「4929 B」と打つ手が優先されます。49 筋は「歩 B」を打っても「二歩」にならないことをご確認ください。

そして「4929 B」には「同玉」とするしかなく、結果は不詰になります。

ではどうすれば良かったのでしょうか？

少し手順を遡って、58 手目「4928 玉」のところで「5128 玉」としてみましよう。以下、

5328 牛、5228G、同牛、5227 玉、5328 牛、5327 玉、5227 牛、5326 玉、5327B、5425 玉、

とすれば、歩 B を 1 枚減らすことができます。（歩 B は歩 G に変わります。）

更にもう一周して歩 B を持駒から無くせば、「4929 B」の着手がなくなるので、今度こそ「4928 玉」から「4626 玉」に抜ける手順を実現することができます。

このように、持っている歩の種類（B～G）によって、どのコースを通れるかが変わります。枚数や種類に注意しながら手順を進めると、自然に答えにたどり着けると思います。

また、 n の値によっては「不詰」が正解になることもあります。

その場合は、「不詰」（王手がない、または同一局面へ戻る）に至る最長手順をお答えください。（出題時『「 n が 3 のとき」及び「 n が 4 のとき」の手順と手数をお答えください』と書きましたが、実は一方は詰み、他方は詰みません。そして、詰む・詰まないには法則性があります。）



■ 100-8 北村太路氏作

ボカスカ協力詰 85手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			●				●	桂	一
	●				●		●		二
桂	●	●	●	●	●				三
●	●	●	王	●	●	●	●	●	四
				●	●	銀			五
	●	桂					●		六
	●	●	●	●	●	●	●		七
	●				●		●	●	八
		●	●			●		王	九

持駒 なし

※銀、全 (成銀) は中立駒

●:石 (着手不可、不透過)

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【ボカスカ】

盤上にある味方の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

(補足)

- 1) 成駒と生駒は別種とみなす
- 2) 動かせない駒があれば動かせるだけ動かす。
- 3) 成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- 4) 歩だけは例外で打つのも動くのも単独。


【石】(●)

不透過・不可侵の領域を表す。

飛び越すことは可能。

3	2	1	
			一
●	●	●	二
角	桂	香	三

例えば左図で、
12 香や 11 香成は不可。
22 角や 11 角は不可。
11 桂成や 31 桂成は可。

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に n を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きと

なる (利きが非対称な駒の場合に要注意)

- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも 白玉への王手は反則。白玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

【100-8 への補足説明】

中立駒+ボカスカルールの作品というと同じ北村氏の **84-7** が思い出されます。ボカスカルールは駒が一斉に動く面白さを強調した作品が多いですが、思い通りに動いてくれないもどかしさを強調した構成は新鮮でした。

84-7 は手数が 33 手だったのですが、今回は 85 手。同時にいくつもの駒が動くので、手数以上にたくさんの手を指した感覚になるでしょう。

なお、ボカスカの指し手の表記ですが、駒の種類と方向で表す従来の表記法は、文字数削減に重きを置き過ぎて、判りにくいと思います。ここでは、各駒の動きを () で括って表す方法を推奨します。

例えば、初手に全が縦に真っ直ぐ動くなら、**(75全、92全)** のように表すのが一例です。

この時 11 全は動けないのですが、敢えてそれも入れて、**(11全、75全、92全)** と表した方が誤りを防ぐには良いでしょう。



■ 100-12 はなさかしろう氏作

協力自玉スタイルメイト 24手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			▲						一
									二
					▲				三
									四
					▽		▽		五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 ▲8歩3

受方持駒 △12

※▲:攻方覆面駒、△:受方覆面駒

ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト（王手は掛かっているが合法手のない状態）にする。

【覆面駒】

種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。駒種が確定すると通常の駒に戻る。

（補足）

- ・透明駒と異なり所属・位置は判明している。
- ・手順表記上「成」は指定できるが、「生」は指定できない。つまり、移動についての情報と、駒が裏返ったという情報は与えることができる。
- ・初形が合法局面であることが仮定される。つまり、駒の枚数が正しいこと、行き所のない駒や二歩がないこと、（受先形式でない場合）受方玉に王手が掛かっていることを推論に含められる。また、特に指定のない限り標準駒数であることも推論に利用できるが、ルールから明らかでない限り双玉・単玉両方の可能性がある。

【作者のコメント】

いつも楽しく拝読しております。

せっかくの機会ですので、第100回 WFP 作品展「一人一作展」に投稿します。

よろしく願いいたします。

【100-12 への補足説明】

はなさかしろう氏は WFP114 号の「ちょっと早い 2018 年年賀詰作品展」で本局と同じく覆面駒を使った協力自玉スタイルメイトを発表されています。この時は惜しくも余詰があったので、捲土重来を期しての登場となります。

今回は受方持駒が（覆面駒なので）種類は分かりませんが、12枚と指定されています。この12枚は全部使うとは限りません。ただ、覆面駒の推定のための重要な情報となりそうですね。



以上

Fairy of the Forest #55 出題

- 2018年03月20日：課題発表：(協力詰)
「自由課題」
- 2018年05月15日：投稿締切
- 2018年05月20日：出題
- 2018年06月15日：解答締切
- 2018年06月20日：結果発表

■ 出題

01で久しぶりに太郎氏が登場。02は安定の七郎氏。2題とは少なすぎますが、このまま出題します。

02は非標準駒数の作品で、「後手持駒なし」です。解図の際はご注意ください。1題でも解けた方はご解答をお寄せください。

(解答先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 55-01 神無太郎 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				桂					四
				王					五
							桂		六
							角		七
						桂			八
									九

持駒 飛桂

■ 55-02 神無七郎 協力詰 109手 (非標準駒数)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		玉	六
歩		歩		歩		王	桂		七
		歩		歩				飛	八
	歩		歩		歩	歩	歩	歩	九

攻方持駒 歩33

受方持駒 なし

第100回WFP作品展 (一人一作展) 結果

担当：神無七郎

第100回WFP作品展(一人一作展)の結果を報告します。

今回はなるべく多くの方に参加していただくため一人一作とし、常連の方には最高の自信作を出してくださるようお願いしました。おかげさまで、力作・大作を多く含むバラエティー豊かな内容になりました。ご参加いただいた皆さんに改めて感謝致します。

ただ、あまりに充実した内容だったため、解答は大変だったと思います。

出題数は余詰で欠番となった100-11を除き、全12題。解答者数は9名。全題正解者なし。解答の内訳は以下の通りでした。

〔第100回WFP作品展成績〕(敬称略)

○：正解 ×：誤解 -：無解

解答者名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	計
たくぼん		○	○	×	○	○	○		○	○		○	8
占魚亭		○	○	-	-	○	○		-	-		-	4
一乗谷酔象		-	-	○	-	-	○		○	-		-	3
テイエムガンバ		○	×	-	○	-	-		-	-		-	3
変寝夢		-	○	-	-	-	○		-	-		-	2
詰ガエル		-	-	○	-	-	○		-	-		-	2
はなさかしろう		-	-	○	-	-	-		-	-		-	2
縫田光司		-	-	○	-	-	○		-	-		-	2
Pontamon		-	-	-	-	-	-		○	-		-	1

ご覧の通り○の分布がまばらで、苦戦の跡が伺えますね。そして100-1、100-8及び100-12の3題は、正解者ゼロ、または作者以外の正解者ゼロという結果になりました。

これはその作品自体の難解さもありますが、他にも難しい作品が多かったため、その影響を受けてしまった面もあると思います。

記念回の出題作でもありますし、作品内容的にも「正解者なし」はもったいないので、この3作は今回の解答発表は見送り、再度解答を募りたいと思います。別項に再出題稿を用意しましたので、改めて解答をお寄せくださるようお願いいたします。

■ 100-2 占魚亭氏作 (正解3名) 協力詰7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									皇	二
					王					三
			飛	歩	歩	駒	■			四
					桂					五
										六
								飛		七
										八
										九

持駒なし

※■:Imitator

【ルール】

•Imitator (■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。このImitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

•協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

【解答】

53歩成[I23] 13香 33桂成[I11] 19香成[I17]

54と[I18] 53玉[I28] 43圭[I38] まで7手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									皇	二
					王	圭				三
			飛	と	歩	駒				四
										五
										六
								飛		七
							■			八
									皇	九

持駒なし

〔主な変化〕

39 手目 38 飛のところ

- ・ 48 飛は 16 玉、46 飛、26 合以下。
- ・ 26 飛は 28 歩合以下。

〔主な紛れ〕

4 手目 27 玉のところ

- ・ 16 玉は 46 飛、26 合、17 歩以下、逃れ。
- ・ 28 金合は同金、16 玉、46 飛、26 合、27 金打、同桂、同金、同玉、26 飛以下、逃れ。

【作者のコメント】

最悪詰版連取りです。

常に開き王手で歩を取り続けないと 16 玉のときに 26 飛で詰まさざるを得なくなります。

取る歩が無くなったら収束ですが、最後の開き王手の移動先も他の位置だと早詰があります。

【解説】

最悪詰は双方が最悪を尽くす詰将棋。だから普通詰将棋とは似ても似つかない手順が繰り広げられる…とは限りません。

通常の意味で最悪っぽい手を指しても、相手に最悪の手で返されると、最悪どころか最善の手にされてしまう…そうならないために、まるで最善手を選んだような手順の進行になることがあります。

本局はそんな最悪詰っぽくない最悪詰の典型例です。手順の表面だけをなぞると、開き王手を利用して 6 手一組で 1 枚歩をはがす連取りであり、まるで普通詰将棋の趣向作に見えます。

でもこれはあくまで最悪詰です。なぜこんな手順が成立するのか確かめてみましょう。

まず、攻方はなぜ開き王手のとき歩を取るのでしょうか？

これは早詰の防止です。手元に歩がないと、開き王手に対し 16 玉と逃げられて、六段目の飛の王手をせざるを得ず、26 合駒に同飛で詰まさざるを得なくなります。逆に、持駒に歩があれば、16 玉と逃げられても 17 歩と打てるので、詰まさなくて済みます。

この状況は「攻方に持駒が強い方が不詰になりやすい」という最悪詰の一般的傾向に合致したものであり、最悪詰としては自然な現象なのです。

では受方はどうでしょう？ なぜ毎回律儀

に連取りに付き合うのでしょうか？ 開き王手の時に 28 に合駒をしてはなぜいけないのでしょうか？

これは具体的に合駒を考えてみれば分かります。28 への合駒が歩のような弱い駒だと、同角と取られ、以下「16 玉 17 歩 27 玉」で不詰になります。かといって、28 への合駒が金のような強力な駒だと同金と取られ、〔主な紛れ〕に書いてあるような手順で不詰となります。「攻方に持駒が強い方が不詰になりやすい」というセオリーはここにも効いているのです。

結果的に攻方は、延命のため歩がなくなるまで連取りを続け、盤上の歩が尽きたところで、渋々収束に入ります。

収束でも開き王手が出ますが、これは 38 飛に限定されています。この位置以外だと、すぐに 16 玉とされて、19 金を消去する手順（これも手数稼ぎ）が入りません。手数が長い作品でも細かい心配りは大切です。

ところで、受方 38 歩を置けば 1 サイクル増えて、53 手詰になると思った人はいませんか？（実は筆者がそうでした）

そうは問屋がおろしません。受方 38 歩を置くと以下の早詰が生じるのです！

17 歩 同玉 38 飛 27 玉 28 飛 36 玉
26 飛 47 玉 46 飛 同玉 47 歩 57 玉
48 角 56 玉 57 歩 66 玉 56 歩 57 銀
同角 67 玉 76 銀 56 玉 67 銀 47 玉
58 銀 36 玉 47 銀 27 玉 38 銀 17 玉
39 角 28 香 同金 16 玉 27 銀 同桂生
同金 同玉 28 香 17 玉 26 香 28 香
同角 27 玉 39 桂 16 玉 17 香 まで 47 手

6 手目 36 玉と逃げて銀合・香合・桂不成を交えた複雑な早詰です。もちろん、作者はこれを知っているからこそ、38 歩を置かなかったのです。

【短評】

縫田光司さん

手順の意味付けは最悪詰ならではですが、表面的な手順だけ見ると普通の趣向作みたいでそれがまた面白いと思いました。

はなさかしろうさん

19 金がいつ出るのか。

4 手目 28 合を読んでしまい、迷いましたが、これでどうでしょう。せめてこの 1 間は合っているといいのですが…

一乗谷酔象さん

詰みへの誘導は易しく、詰まさないよう粘ってみると意外に手数が伸びる。

詰ガエルさん

楽しい手順。

たくぼんさん（※誤解）

何だかホッとしました。

やっぱりルール特有の趣向作はいいですね。

38 歩が無い理由はちょっと時間不足で調べていませんが解説を楽しみにしておきます。

☆たくぼんさんは 5 手目から 28 金として先に金を消去する解答でした。これだと作意通りには進まず、以下「16 玉 27 金 同桂生 46 飛 26 歩 同飛 まで」の早詰になってしまいます。作意で金の消去を収束まで保留するのはこのためです。

■ 100-5 小林看空氏作（正解 2 名）

背面打歩協力自玉詰 10 手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									王	二
										三
								王		四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 角

※本局の打歩は「完全打歩」

【ルール】

• 背面

敵駒と背中合わせになったとき、互いに利きが入り替わる。

• 打歩

打歩詰以外の詰手を禁手とする。これは先後双方に再帰的に適用される（完全打歩）。

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【解答】

23 角 24 桂 同王 22 玉 14 桂 15 金 同王 13 玉 24 金 25 歩 まで 10 手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
								角	王	三
								金	桂	四
								歩	王	五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

【作者のコメント】

法則問題なのでみなさん戸惑うかも。

【解説】

支えのない歩による打歩詰。

詰上り図をご覧ください。感覚的には納得し難いですが、利きのない所にポンと打った歩で詰んでいるというのが「完全打歩」の不思議なところです。

この歩を取るとすれば同玉とするしかなく、それでは金の利きが復活して受方玉を詰ましてしまいます。するとこれが「打歩詰以外で詰める反則」になります。ですから歩を取ることはできません。他に受けもなく、これで自玉の打歩詰達成です。

この種の「打歩詰」は受方玉と攻方玉の双方が詰みやすい形を作る方針で手順を進めるのが解図のコツです。本局の手順は、双方の玉の周

囲にたくさん駒を集め、自玉は詰みやすい盤端に移動するという、「完全打歩」のセオリーに沿った進行なのですが、この詰上りが見えないと、打歩に無関係に見える手順を延々と続けるのは抵抗があるでしょう。

かつて「協力打歩自玉詰」は詰上りのバリエーションが乏しいため、あまり高度な作品が作られない分野でした。ただ、「完全打歩」の概念が登場してからは、このルールの表現力が格段に上がったと思います。多重再帰的な禁手の適用を強調しすぎると煩雑な印象を与えてしまう「完全打歩」ですが、本局のように手順を華やかにする目的で使えば、解答者にも良い印象を持って貰えると思います。

【短評】

たくぼんさん

かなり苦戦しました。

この美しい双裸玉から繰り出される手順とは思えないくらいの順でした。

☆本局はテイエムガンバさんも正解。
短評はありませんでした。

■ 100-6 たくぼん氏作 (正解2名) ※実質1名

協力自玉詰 100手

銀	銀	銀	銀	香	金	金	金	金		
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
	角				皇					
		香	桂	と	桂					
王		桂	王						香	

持駒 桂

【解答】

59と79玉 69と 同玉 77香 58玉
69角 67玉 58角 77玉 69桂 78玉
67角 69玉 78角 58玉 69角 49玉
58角 38玉 47角 37玉 39香 27玉

38角 37玉 29角 27玉 18角 17玉
29角 18香 同香 27玉 38角 18玉
29角 27玉 38角 37玉 27角 38香
同香 48玉 49香 同玉 37香 38香
同角 58玉 47角 同玉 49香 48角
同香 37玉 19角 28香 同角 48玉
37角 57玉 59香 58香 48角 68玉
57角 59玉 48角 68玉 59角 67玉
69香 68香 同香 77玉 67香 59香成
79香 78角 同香 67玉 49角 58香
同角 同杏 69香 68角 同香 同杏
49角 58香 同角 78玉 67角 87玉
78角 同杏 88香 同杏 まで 100手

(詰上り)

銀	銀	銀	銀	香	金	金	金	金		
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
	王									
	皇									
王										

持駒 なし

【作者のコメント】

今回第100回ということで OFM のトップページの100番作品の100手を真似て100手の作品をと頑張りました。自信作とまではいきませんが、何とか間に合って良かったです。

100手に拘らなければ、後手持駒制限つきでもっとすっきりとした初形にすることも可能なんです、100手にするためにちょっと醜い初形になってしまいました。

手数は長いですが角香桂の細かいやりとりは楽しめると思いますのでたくさんの方のチャレンジをよろしくお願いします。

【解説】

3×9の横長の密室で繰り広げられる繊細で難解なパズルです。

この種の作品を解くには、大きな方針を的確に立て、手順の流れを適切に制御することと、小さな違いや可能性に目を向け、粘り強く正解を探す気力の両方の要素が必要です。

自玉を詰ますための指針を立てるのは比較的容易です。

使用可能な駒を考えると、自玉を詰めるには成駒を作るしかありません。桂合はもちろん無理ですし、1筋から6筋まで歩が置いてあるため、歩合をして、それを成らせる詰筋も無理があります。

可能なのは香合を発生させて成香に変え、自玉を詰める筋だけです。それを実現するには香が3枚必要なので、19香を盤上から消して使える駒を増やす必要があります。ですから、まずは舞台を右辺に移し、19香を消去、どこかで香合を発生させて、それを成らせ、左辺に戻ってくる、という手順の流れが想定できます。

さて、手順の大まかな流れはこれで良いとして、成香はどうやって作るのでしょうか？

まず「角の王手で香合する」という筋では、成香を作れないことを認識する必要があります。以下は部分図ですが、左右に適度な余白があるものとして考えてください。

王		
	皇	
		角

この形で手元に香が2枚あったとしても、合駒の香を取らないと手が続きません。縦の空間が三段分しかないので、角を繰り替える余裕がないのです。

一方、「香の王手で香合する」という形は非常に有力であることが分かります。

王		角
皇		
香		

ここで持駒に香があり、左辺に適度に余白が確保されていれば、攻方の香を消した跡地に角を捨てて成香を作ることができます。更に持駒の香を使って角を回収すれば駒が不足することはありません。

ただし、角を捨てる時は持駒に香がないと手が続かなくなるので、角の直接王手に同香成とするのではなく、香を稼いでから開き王手で

角を取らせる細心の注意が必要です。

詰手順の心臓部と言える「香の王手で香合する」形を発見すれば、後はこの前後を繋げる作業になります。作意手順では64手目に上記の「香の王手に香合」の形が出てきますが、ここを中心に前後の手順を見れば、その手順が無理や無駄のない効率の良い手順であることが分かるでしょう。19香を消した後、すぐに左辺に戻らず、回り道をしているように見える角の動きにも、ちゃんと意味があるのです。

本局はその難解さのため、正解に辿り着く前に心が折れた方も多いかもかもしれません。ただ、作意を見て、その意味付けを分析すれば、単なる紛れが煩雑な作品ではないことが理解できると思います。

【短評】

占魚亭さん

復路にかなり手こずりました。

☆作者以外の唯一の正解者は占魚亭さん。本局は解答者ゼロが危惧された作品の一つですが、さすがの解図力を見せてくれました。

たくぼんさん

79桂消去など無理やり入れて100手にしたためちょっと初形がごちゃごちゃした感じになってしまいました。

その後の手順はまあまあ見ごたえがあるかなと思いますが、どうなることか。

☆確かに序の数手は無理をした跡がありますね。でも、その後の手順が充実しているので、あまり気にする必要はないと思います。



■ 100-7 sogamushi 氏作 (正解 6 名)

詰将棋 10手 (※受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				と	と			銀	五
						王	香	飛	六
							桂	王	七
								香	八
					銀				九

攻方持駒 歩
受方持駒 銀

【ルール】

• 詰将棋

攻方は受方がどのように応じてても詰むように攻め、受方はなるべく詰まないように応じる。(いわゆる普通の詰将棋)。

• 受先

受方から指し始める。

【解答】

37 銀 同銀 同玉 38 歩 36 玉 37 銀
47 玉 48 銀引 36 玉 37 歩 まで 10 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				と	と			銀	五
						王	香	飛	六
						歩	桂	王	七
								香	八
					銀				九

攻方持駒 なし
受方持駒 銀

〔主な紛れ〕

2 手目同銀で

• 23 香成は 26 銀、同飛、同角で不詰

最終手 37 歩で

• 23 香成は 26 銀、同飛、同角で不詰

〔主な変化〕

初手 37 銀で

• 11 銀は 23 香成、25 玉、15 飛、36 玉、35 飛など (6 手駒余り)

• 14 銀は 23 香成、25 玉、35 となど (4 手駒余り)

• 24 銀は同香、25 玉、35 と、14 玉、15 飛など (6 手駒余り)

• 25 銀は同香、同玉、15 桂、14 玉、23 桂成、15 香、24 圭など (8 手駒余り)

• 34 銀は、23 香成、25 玉、15 飛、36 玉、47 角など (6 手駒余り)

• 35 銀は、同と、47 玉、45 銀右、36 玉、37 銀打まで (6 手駒余り)

• 24 角 (~51 角) は、同香 (24 香)、25 玉、35 とまで (4 手駒余り)

• 26 角は、同飛まで (2 手駒余り)

【作者のコメント】

「そもそも初形が詰めろではない」がテーマです。

本作では、37 歩が打歩詰になるので不詰なのに、そこから更に 1 手受けてもらうといつの間にか 37 歩と出来て詰むという構成にしました。

初手の変化について、難しい手は無いのですが、駒取りを含むごちゃごちゃした手順なので、ちょっと嫌みかもしれません (特に 25 銀の変化)。

【解説】

受先詰将棋は通常「必至が掛かった局面で最長の粘りを探す」ことに相当します。

ところが本局は「必至」どころか「詰めろ」すら掛かっていません。手番が攻方でも詰まないのです。

攻方手番で王手を掛けるとすれば「35 と」とするか、香の開き王手ですが、前者は 46 玉以下不詰。後者は銀合で不詰です。また「37 歩」は打歩詰の反則です。

攻方手番で詰まないものは、受方手番だとなおさら詰まないはずですが、本局はそうではありません。

受方の玉は完全に囲まれて動けません。26角も同飛で1手詰。これ以外で指せる手は持駒の銀を打つ手だけですが、どこに銀を打っても詰んでしまいます。

つまりこの局面は先後どちらにとっても手番を持ちたくない、できればパスしたい局面なのです。これはチェスの用語では「ツークツワンク」と呼ばれ、将棋では自然には生じにくい状況です。（「どうぶつしょうぎ」等の、いわゆる「ミニ将棋」では、そのような状況が自然に生まれることもあり得ます。）

さて、何を指しても詰むとなれば、受方はルールに従って最長の着手を選ぶしかありません。それが初手 37 銀です。それ以外はどれも早詰になってしまいます。

37 銀が置かれた後は、もう普通の詰将棋です。

打歩詰を避けるため、4 手目銀ではなく、先に歩を打つ地味な「先打突歩詰」が登場しますが、これも習いある手筋ですね。

初形と詰上りを比較するとあら不思議。攻方が持駒の歩を打って詰めているように見えます。まるで「二手指し」と「打歩詰」の二重の反則をしたようですね。作者はこれまでも「手番」絡みのマジックを見せてくれていますが、本局はその中でもとびきり不思議なマジックだと思います。

【短評】

変寝夢さん

先手番なら不詰になんですね。初手 37 銀と打たざるを得ない仕掛けが面白い。

縫田光司さん

「パス」ができればなあ、と嘆く受方ということでしょうか。その後の手順にも単純とはいえ先打突歩が織り込まれていて、不思議な雰囲気は補強している気がします。

一乗谷酔象さん

26 は触らない手順。

詰ガエルさん

先手番だと打歩詰で詰まないのに、後手番だ

とすると、いつのまにか 38 に歩が発生して突歩詰。

まるで手品のような構想に感心しました。

占魚亭さん

不思議な打歩打開。

たくぼんさん

いやはやこの初手の銀打が一番の延命とは、そして初形と詰上りの対比も素晴らしい。

☆本局は今回の作品展で最多の解答を集めました。難解さはありませんが、主題が明確で訴求力の強い作品だと思います。

■ 100-9 一乗谷酔象氏作（正解 3 名）

「時は金なり 3」

成禁非王手可天使詰 40547手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					王	銀	金		一
				歩		歩	歩		二
				香	王	飛	飛	角	三
				香	歩	金	銀	角	四
		桂	桂			桂	銀	金	五
		歩	歩			桂		歩	六
	歩					皇			七
歩	歩	歩	歩	歩	歩	皇	歩	歩	八
皇	皇								九

攻方持駒 歩

受方持駒 歩

【ルール】

• 天使詰（最長協力詰）

先後協力して最長手順で受方玉を詰める。（補足）

- 悪魔詰と異なり不詰は避ける
- 手順中に同一局面があってはならない（初形を含む）

• 非王手可

攻方に王手の義務がない（王手をしても良い）

• 成禁

詰手順中に駒を成る手があってはいけない。

【解答】

※最初に記号を定義する

* X手順(X1~X3)は△89金→△19金

* X1手順

(▲21金/△89金型→▲11金/△19金型、45手)
 △79金▲11金△89金▲12金△79金▲21金
 △89金▲11金△79金▲12金△69金▲21金
 △59金▲11金△69金▲12金△59金▲21金
 △69金▲11金△59金▲12金△49金▲21金
 △39金▲11金△49金▲12金△39金▲21金
 △49金▲11金△39金▲12金△29金▲21金
 △19金▲11金△29金▲12金△19金▲21金
 △29金▲11金△19金

* X2手順

(▲11金/△89金型→▲12金/△19金型、45手)
 △79金▲12金△89金▲21金△79金▲11金
 △89金▲12金△79金▲21金△69金▲11金
 △59金▲12金△69金▲21金△59金▲11金
 △69金▲12金△59金▲21金△49金▲11金
 △39金▲12金△49金▲21金△39金▲11金
 △49金▲12金△39金▲21金△29金▲11金
 △19金▲12金△29金▲21金△19金▲11金
 △29金▲12金△19金

* X3手順

(▲12金/△89金型→▲21金/△19金型、45手)
 △79金▲21金△89金▲11金△79金▲12金
 △89金▲21金△79金▲11金△69金▲12金
 △59金▲21金△69金▲11金△59金▲12金
 △69金▲21金△59金▲11金△49金▲12金
 △39金▲21金△49金▲11金△39金▲12金
 △49金▲21金△39金▲11金△29金▲12金
 △19金▲21金△29金▲11金△19金▲12金
 △29金▲21金△19金

* Y手順(Y1~Y3)は△19金→△89金

* Y1手順

(▲21金/△19金型→▲11金/△89金型、45手)
 △29金▲11金△19金▲12金△29金▲21金
 △19金▲11金△29金▲12金△39金▲21金
 △49金▲11金△39金▲12金△49金▲21金
 △39金▲11金△49金▲12金△59金▲21金
 △69金▲11金△59金▲12金△69金▲21金
 △59金▲11金△69金▲12金△79金▲21金

△89金▲11金△79金▲12金△89金▲21金
 △79金▲11金△89金

* Y2手順

(▲11金/△19金型→▲12金/△89金型、45手)
 △29金▲12金△19金▲21金△29金▲11金
 △19金▲12金△29金▲21金△39金▲11金
 △49金▲12金△39金▲21金△49金▲11金
 △39金▲12金△49金▲21金△59金▲11金
 △69金▲12金△59金▲21金△69金▲11金
 △59金▲12金△69金▲21金△79金▲11金
 △89金▲12金△79金▲21金△89金▲11金
 △79金▲12金△89金

* Y3手順

(▲12金/△19金型→▲21金/△89金型、45手)
 △29金▲21金△19金▲11金△29金▲12金
 △19金▲21金△29金▲11金△39金▲12金
 △49金▲21金△39金▲11金△49金▲12金
 △39金▲21金△49金▲11金△59金▲12金
 △69金▲21金△59金▲11金△69金▲12金
 △59金▲21金△69金▲11金△79金▲12金
 △89金▲21金△79金▲11金△89金▲12金
 △79金▲21金△89金

J = ▲11金 X2

▲21金 △91歩 ▲11金 Y2
 ▲21金 △92歩 ▲11金 X2
 ▲21金 △93歩 ▲11金 Y2
 ▲21金 △94歩▲11金 X2
 ▲21金 △95歩 ▲11金 Y2
 ▲21金 △96歩 ▲11金 X2
 ▲97歩 Y3
 ▲11金 △97歩不成 ▲12金
 (383手。序：▲98歩→△97歩)

A = X3

▲98歩 Y1
 ▲97歩 X2
 ▲21金△91歩▲11金 Y2
 ▲21金△92歩▲11金 X2
 ▲21金△93歩▲11金 Y2
 ▲21金△94歩▲11金 X2
 ▲21金△95歩▲11金 Y2
 ▲96歩 X3
 ▲11金△96歩▲12金 Y3
 ▲98歩 X1

▲97 步 Y2
 ▲96 步 X3
 ▲11 金△91 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△92 步▲12 金 X3
 ▲11 金△93 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△94 步▲12 金 X3
 ▲95 步 Y1
 ▲12 金△95 步▲21 金 X1
 ▲98 步 Y2
 ▲97 步 X3
 ▲96 步 Y1
 ▲95 步 X2
 ▲21 金△91 步▲11 金 Y2
 ▲21 金△92 步▲11 金 X2
 ▲21 金△93 步▲11 金 Y2
 ▲94 步 X3
 ▲11 金△94 步▲12 金 Y3
 ▲98 步 X1
 ▲97 步 Y2
 ▲96 步 X3
 ▲95 步 Y1
 ▲94 步 X2
 ▲21 金△91 步▲11 金 Y2
 ▲21 金△92 步▲11 金 X2
 ▲93 步不成 Y3
 ▲11 金△93 步▲12 金 X3
 ▲98 步 Y1
 ▲97 步 X2
 ▲96 步 Y3
 ▲95 步 X1
 ▲94 步 Y2
 ▲93 步不成 X3
 ▲11 金△91 步▲12 金 Y3
 ▲92 步不成 X1
 ▲12 金△92 步▲21 金 Y1
 ▲98 步 X2
 ▲97 步 Y3
 ▲96 步 X1
 ▲95 步 Y2
 ▲94 步 X3
 ▲93 步不成 Y1
 ▲92 步不成 X2

(2477 手。A 手順：△97 步型→▲92 步型)

B = Y3

▲11 金△91 步▲12 金 X3
 ▲11 金△92 步▲12 金 Y3

▲98 步 X1
 ▲97 步 Y2
 ▲96 步 X3
 ▲95 步 Y1
 ▲94 步 X2
 ▲21 金△93 步▲11 金 Y2
 ▲93 步不成 X3
 ▲11 金△91 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△92 步▲12 金 X3
 ▲11 金△93 步▲12 金 Y3
 ▲98 步 X1
 ▲97 步 Y2
 ▲96 步 X3
 ▲95 步 Y1
 ▲12 金△94 步▲21 金 X1
 ▲94 步 Y2
 ▲21 金△91 步▲11 金 X2
 ▲21 金△92 步▲11 金 Y2
 ▲21 金△93 步▲11 金 X2
 ▲21 金△94 步▲11 金 Y2
 ▲98 步 X3
 ▲97 步 Y1
 ▲96 步 X2
 ▲21 金△95 步▲11 金 Y2
 ▲95 步 X3
 ▲11 金△91 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△92 步▲12 金 X3
 ▲11 金△93 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△94 步▲12 金 X3
 ▲11 金△95 步▲12 金 Y3
 ▲98 步 X1
 ▲97 步 Y2
 ▲21 金△96 步▲11 金 X2
 ▲96 步 Y3
 ▲11 金△91 步▲12 金 X3
 ▲11 金△92 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△93 步▲12 金 X3
 ▲11 金△94 步▲12 金 Y3
 ▲11 金△95 步▲12 金 X3
 ▲11 金△96 步▲12 金 Y3
 ▲98 步 X1
 ▲12 金△97 步不成▲21 金 Y1
 ▲97 步 X2
 ▲21 金△91 步▲11 金 Y2
 ▲21 金△92 步▲11 金 X2
 ▲21 金△93 步▲11 金 Y2
 ▲21 金△94 步▲11 金 X2

「時は金なり」シリーズ及び「輪廻の歩」の特徴比較

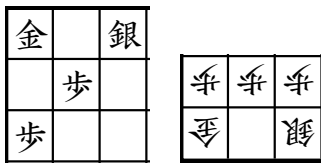
作品名	手数	金(角金)の繰り替え		端歩		※歩の消費無し その他の手		縮小趣向		
		先後の形	局面数(最大)	段数	手数	数	有無	先後の形	局面数(最大)	
時は金なり	1111	2×3	12	9	68	0	あり	2×2	8	-
時は金なり2	10697	2×3	12	9	68	11	あり	2×2	8	-
時は金なり3	40547	3×8	48	8	52	15	なし	-	-	-
輪廻の歩	46715	15×2	60	9	68	10	あり(2段)	12×2, 9×2	48	36

本局を理解するには、まず WFP95-14「時は金なり2」と比較するのが一番分かりやすいと思います。上記の表で、「金(角金)の繰り替え」の項目の「局面数(最大)」を見てください。

「時は金なり2」の局面数12に対し、今回の「時は金なり3」は局面数48で、4倍になっています。これが作品全体の手数にも反映され、「時は金なり2」の約1万手から、本局の約4万手という長手数を生み出す原動力になっています。

次に4倍の局面数を生み出す仕組みを具体的に見てみましょう。

「時は金なり2」では次の2つのパーツが局面数12を生み出していました。



左のパーツでは攻方の金が81・91・92に存在でき、右のパーツでは受方の金が89・99に存在できます。金の位置の組み合わせだけなら6通りなのですが、これに手番を考慮して12局面が考えられます(「局面」の概念には手番も含まれることに注意してください)。そしてこの12局面はすべて巡回可能で、始点と終点をどこにするかを除けば、同じ経路を巡回することになります。

実際の手順では目的が「パス」か「手数稼ぎ」かによって12局面のうち、11局面を訪れるか、10局面で止めるかが変わります。

一方、本局の「時は金なり3」は次の2つのパーツが局面数48を生み出します。



左のパーツは攻方の金が11・12・21に存在でき、右のパーツでは受方の金が19から89までの8箇所が存在できます。これに手番の要素を考慮して、48局面があり得るわけですね。

問題はこの48局面を巡回する経路が存在するか、そしてそれが実質的に唯一の経路になっているかということです。

特に心配なのが「時は金なり2」と違い、受方の金の存在可能位置が増えていることです。数の増加自体は怖くないのですが、往復する金の両端での挙動と、途中を通過する挙動が異なる可能性は考えねばなりません。

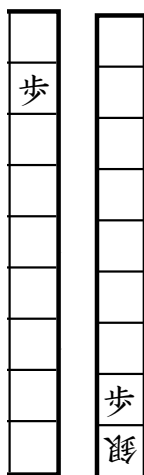
しかし、作者の下した結論は「心配ない」というものでした。つまり、48局面はすべて巡回可能であり、始点と終点が異なる以外は、同じ経路を巡回するわけです。

そして、目的が「パス」か「手数稼ぎ」かによって48局面のうち、47局面を訪れるか、46局面で止めるかが変わります。手順表記ではそのうち45手をX1~X3、Y1~Y3という記号にまとめ、それに2手または1手を加える形で、金の繰り替え手順を表しています。

個人的な見解ですが「横長の金の繰り替え機構を使っても支障がない」という結論を導いたことは、本作最大の成果ではないでしょうか。

「金の繰り替え」から目を転じて、今度は「時は金なり」シリーズの共通のパーツ、作者が「歩問題」と読んでいたパーツにも着目しましょう。作者の表では「端歩」という項目に、その段数と稼げる手数が示されています。

目で見て分かるように「時は金なり2」と「時は金なり3」の「端歩」を並べてみます。



左が「時は金なり2」で、右が「時は金なり3」です。この縦長の空間で先手と後手の歩の位置を組み合わせ、手数稼ぎを行います。

これを見ると、「時は金なり2」が九段すべてを使用するのに対し、「時は金なり3」は八段しか使用できません。この点では「時は金なり3」の方が不利に見えますね。では、いったい何でその不利を補っているのでしょうか？

その秘密は作者の表で「その他の手」に分類されている手の数にあります。

「時は金なり2」では、「金の繰り替え」と「端歩」の組み合わせが限界に達した時、他の筋の配置を少し変えて、再び「金の繰り替え」と「端歩」の組み合わせた手数稼ぎを実行していました。そしてその目的に使える筋は主に7筋と8筋です。9筋もかろうじて「その他の手」の着手に使えますが、その貢献は全体から見ればわずかです。実際、「時は金なり2」の図を見て確かめてください。



一方、「時は金なり3」はどうでしょう？

8筋から6筋までが、まるまる「その他の手」に使えます。



「時は金なり2」の「その他の手」が11に比べ、「時は金なり3」の「その他の手」が15に増えているのは、この構図の違いが大きく貢献しています。

こうして見ると「時は金なり3」は正に「時は金なり2」のバージョンアップ版であり、構造そのものは同じでも、各パーツや全体の構図の取り方などが、より洗練されていることが分かります。

その「洗練」の最たる証拠が詰上り。「時は金なり2」では最後の手数稼ぎのため、収束で「金の繰り替え」機構を縮小していました。本局は機構を維持したまま、収束します。作者は「端歩が1段少ないため収束の端歩の形が前作と異なっているのは救い」と書いていますが、規模の縮小が構造の維持に貢献したとすれば、これは賢明な判断の賜物と言えるでしょう。

「輪廻の歩」の「角金の繰り替え」は複雑怪奇でしたが、本局はあくまで「金の繰り替え」であり、これまでのシリーズを見てきた方にとっては、分かりやすい作品にすら感じられるのではないのでしょうか？

本シリーズがこれからどのように発展していくのか、これからも注目していきたいと思えます。

【短評】

Pontamon さん

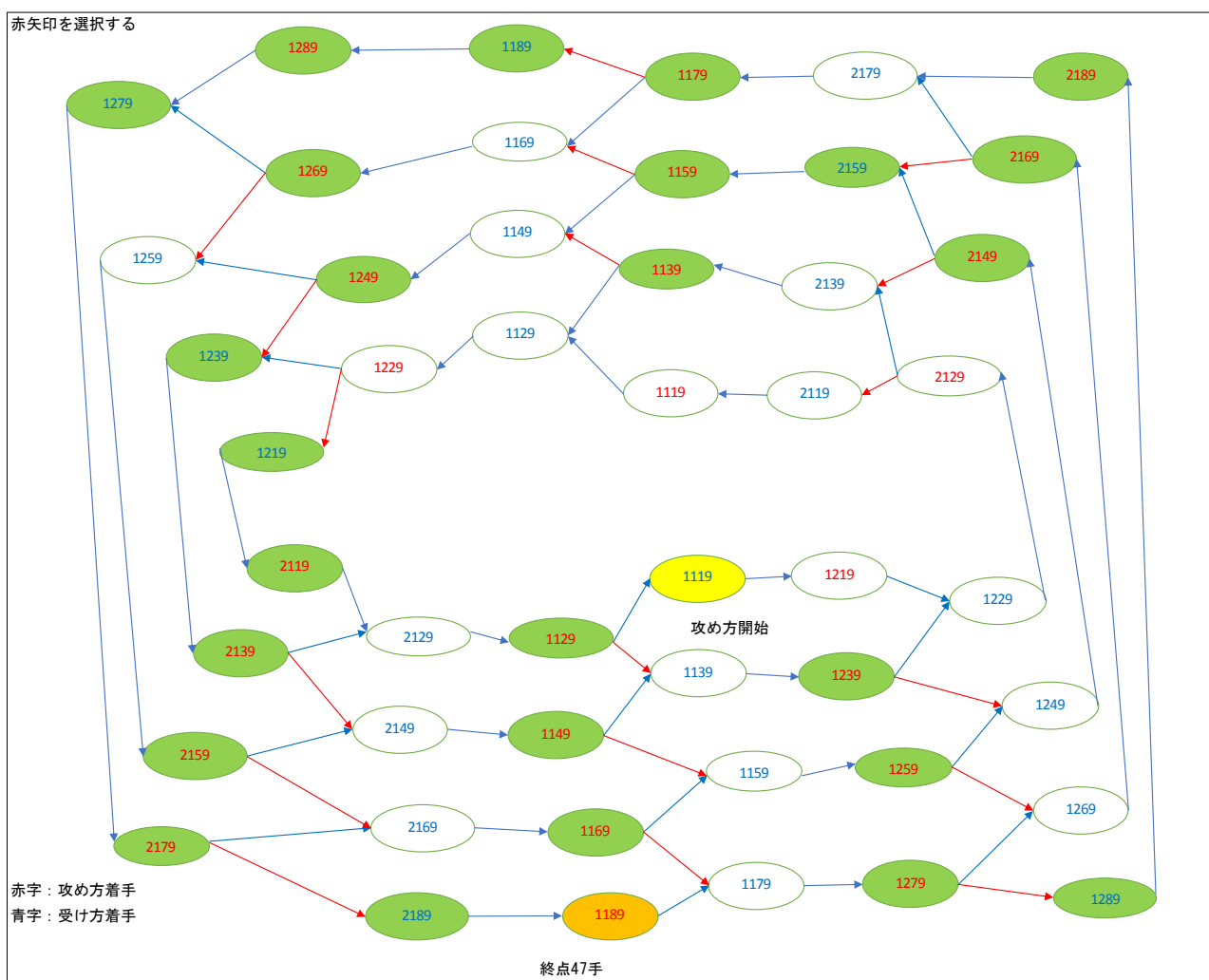
今回の手待ちはループではなく往復運動。手待ち開始局面とその回の終了局面に加えて手番があるので組み合わせは24通り。どの待ち手順を使うかはその時が来るまで確定しないので、解図の方針はわかっています。

も解答手順を作るのにコピー間違い等々で20回目くらいでようやく完成しました。

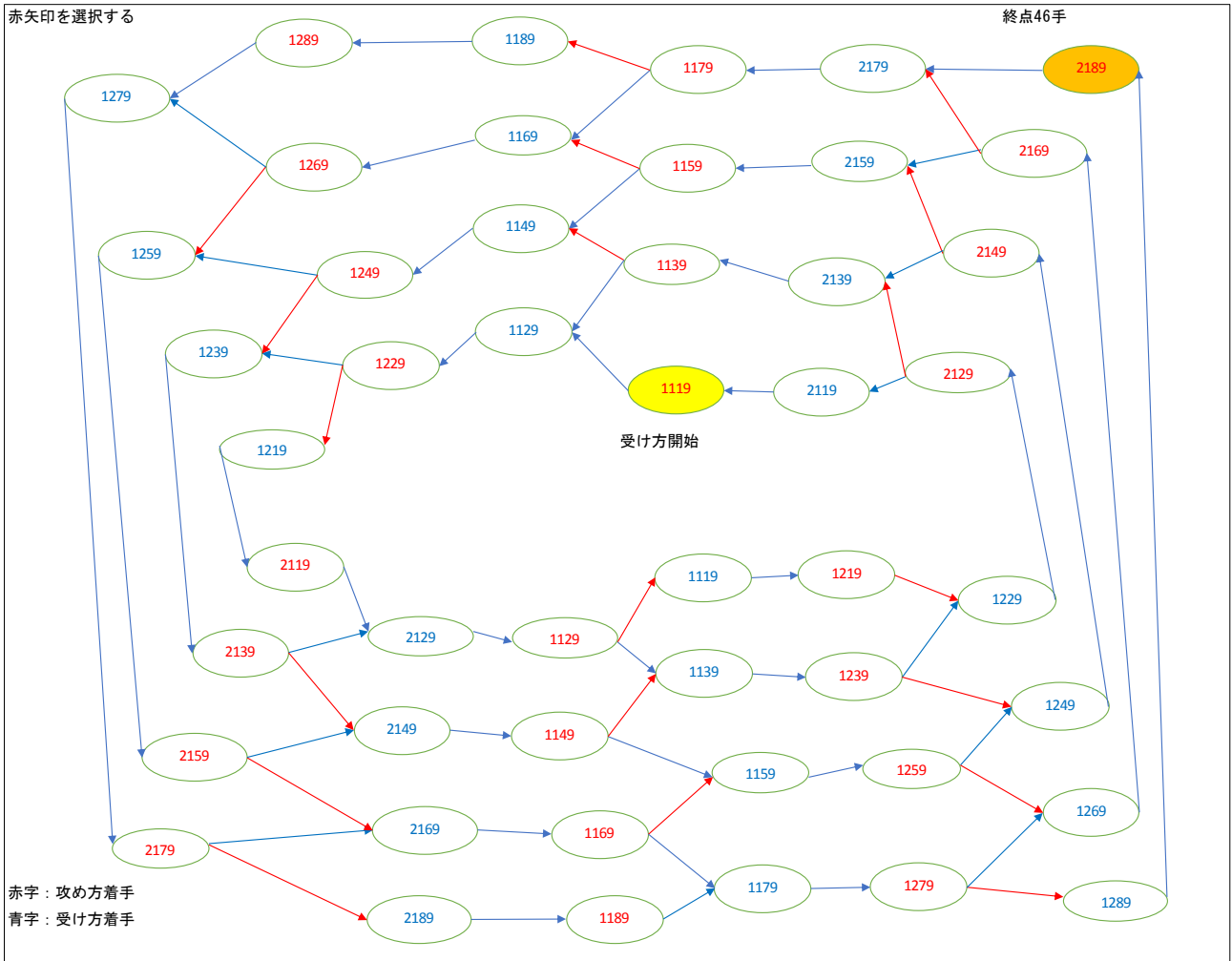
☆超大作の本局にいち早く解答を送ってくださったのは Pontamon 氏。最初の解答手順には途中で同一局面があり、何度か担当とのやり取りがありました。最終的には同一局面も一掃され、作意解と完全に一致しました。機械検討では部分的な最長手順しか求められない作なので、早々に作者と解答者の解が一致したのは心強かったです。もし一致しなければ、原因の調査や、場合に

よっては修正図の検討なども必要なので、早目の解答は担当者にとっては有り難い限りです。

☆また Pontamon 氏の解答は、ビジュアル面でも力作でした。氏は Excel で状態遷移図を作成し、最長経路を示しています。状態遷移図は何枚もありますが、一例として（攻方 11 金、受方 19 金、攻方手番）を起点とした状態遷移図をご覧くださいませ。



☆もう一例、手番が変わっただけの局面（攻方 11 金、受方 19 金、受方手番）を起点とした状態遷移図もご覧くださいませ。



☆筆者も「輪廻の歩」の解説（WFP114号）の中で、状態遷移図を使って最長経路を選択する方法を紹介しましたが、あの時のお粗末な図とは大違いですね。48状態となると、かなり大規模なので、綺麗に図を書くことも結構重要だと思います。

たくぼんさん

後手の金の横移動が大きく手数を伸ばした要因ですね。輪廻の歩のような攻方機軸があれば超超手数になるところでしょうが駒数がたりないでしょうね。

☆たくぼんさんの解答も最初は手数が合わず、何度かやり取りがありました。最終的には kif 形式のファイルを送って貰い、作意との一致を確認しています。やはり、複数の解答者の解答が作意と一致すると心強いですね。



33 桂に同龍ならそれで詰みですし、32 玉と逃げて22 桂成から23 成桂と進めれば、同龍を強制できます。

33 桂さえ見えれば、上記手順で51 歩の代わりに32 玉とした変化にも難く対応できます。32 玉に対し21 龍、同玉と進めば、やはり33 桂が決め手になります。

2 手目32 玉の変化が意外と厄介ですが、これには22 桂成、33 玉に、44 龍、同龍、24 馬、同龍で自玉を詰める妙手順があります。

結局の所52 銀は取れないので、受方は手数稼ぎのため逃げ回ります。これに対し、攻方も上述の筋を残したまま、玉を追い回します。

特に面白いのが、5 手目の25 桂。ここで桂を手放してしまうと、決め手の33 桂がなくなってしまいそうですが、25 桂は後で33 桂不成とできるので、6 手目同龍とできないことを読み切ってしまうと、心配無用です。

持駒の銀と桂を盤上に配置した後は、7 手目41 銀生以下、最初に述べた手順に持ち込みます。一旦、持駒を盤上に置き、後で次々と捨てていく手順は「積み崩し」と呼ばれますが、本局は龍の転回による豪快な捨駒を間に挟み、「積み崩し」の快感を増幅しています。

詰手順全体を概観すると、初手52 銀、5 手目25 桂、13 手目33 桂生がどれも取れない捨駒で、重要な役割を果たしています。更にこれを二段活用することで、手順に爽快感が生まれています。自力で解く場合は難しい変化・紛れを乗り越える必要がありますが、この素晴らしい手順はその苦勞に充分見合うものだと思います。

【短評】

たくぼんさん

作者の自信作品だけあって変化も紛れも作意も言うことなしです。21 龍には痺れました。

☆本局唯一の正解者はたくぼんさん。

対抗系ルールには協力系ルールにはない魅力があるので、フェアリーにおいても対抗系ルールの作家・解答者が増えて欲しいと思います。

■ 100-13 神無七郎作 (正解1名!)

PWC協力詰 283手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				馬				王	一
							桂		二
								飛	三
									四
							龍	卒	五
						銀			六
							飛	入	七
									八
									九

攻方持駒 なし
 受方持駒 なし
 ※零:(0,0)-leaper王
 36飛は中立駒・成らない

【ルール】

• PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。(駒位置の交換となる)

(補足)

戻り方等は以下の細則に従う

- 1)駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2)位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3)駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4)中立駒の駒取りに関する規則はPWCの駒交換に関しても適用される(手番側の駒に対する位置交換はできない)。

• Zero (零)

(0,0)-leaper。現在位置に移動する。行き所のない駒にはならない。

本局では受方玉が零の性能になっている。

• 中立駒

どちらの手番でも動かせる駒。

ただし、本局の中立駒の飛は成らない。

【解答】

16n 飛 26n 飛 25n 飛/26 銀 24n 飛
 14n 飛 94n 飛 95n 飛 35 銀
 同 n 飛/95 銀 34n 飛 14n 飛 94n 飛
 95n 飛/94 銀 同角/51n 飛 55n 飛生 56n 飛
 (16手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							桂		二
							歩		三
銀									四
角								卒	五
			飛						六
							歩	又	七
									八
									九

16n 飛 96n 飛 95n 飛/96 角 85 銀
 同 n 飛/95 銀 同角/96n 飛
 16n 飛 86n 飛 85n 飛/86 角 84n 飛
 14n 飛 74n 飛 75n 飛 同角/86n 飛
 16n 飛 76n 飛
 75n 飛/76 角 74n 飛 14n 飛 64n 飛
 65n 飛 同角/76n 飛 16n 飛 66n 飛
 65n 飛/66 角 64n 飛 14n 飛 54n 飛
 55n 飛 同角/66n 飛 16n 飛 56n 飛
 55n 飛/56 角 54n 飛 14n 飛 44n 飛
 45n 飛 同角/56n 飛 16n 飛 46n 飛
 45n 飛/46 角 44n 飛 14n 飛 34n 飛
 35n 飛 同角/46n 飛

(62手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							桂		二
							歩		三
									四
銀				角				卒	五
			飛						六
							歩	又	七
									八
									九

16n 飛 36n 飛
 35n 飛/36 角 34n 飛 14n 飛 同角/36n 飛

(68手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							桂		二
							歩		三
									四
銀								卒	五
							飛		六
							歩	又	七
									八
									九

16n 飛 96n 飛 95n 飛/96 銀 94n 飛
 14n 飛/94 角

(73手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							桂		二
							歩		三
角								卒	四
								卒	五
銀									六
							歩	又	七
									八
									九

84n 飛 85n 飛 同角/94n 飛
 14n 飛 84n 飛 85n 飛/84 角 同銀/96n 飛

(80手目)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
							桂		二
							歩		三
		角							四
								卒	五
飛									六
							歩	又	七
									八
									九

16n 飛 76n 飛 75n 飛 同角/84n 飛
 14n 飛 74n 飛 75n 飛/74 角 76n 飛
 16n 飛 66n 飛 65n 飛 同角/74n 飛
 14n 飛 64n 飛 65n 飛/64 角 66n 飛

16n 飛 56n 飛 55n 飛 同角/64n 飛
 14n 飛 54n 飛 55n 飛/54 角 56n 飛
 16n 飛 46n 飛 45n 飛 同角/54n 飛
 14n 飛 44n 飛 45n 飛/44 角 46n 飛
 16n 飛 36n 飛 35n 飛 同角/44n 飛
 14n 飛 34n 飛 35n 飛/34 角 36n 飛
 16n 飛 同角/34n 飛 14n 飛 84n 飛
 85n 飛/84 銀 86n 飛 16n 飛/86 角 76n 飛
 75n 飛 同角/86n 飛 16n 飛 76n 飛
 75n 飛/76 角 同銀/84n 飛 14n 飛 64n 飛
 65n 飛 同角/76n 飛 16n 飛 66n 飛
 65n 飛/66 角 64n 飛 14n 飛 54n 飛
 55n 飛 同角/66n 飛 16n 飛 56n 飛
 55n 飛/56 角 54n 飛 14n 飛 44n 飛
 45n 飛 同角/56n 飛 16n 飛 46n 飛
 45n 飛/46 角 44n 飛 14n 飛 34n 飛
 35n 飛 同角/46n 飛 16n 飛 36n 飛
 35n 飛/36 角 34n 飛 14n 飛 同角/36n 飛
 16n 飛 76n 飛 75n 飛/76 銀 74n 飛
 14n 飛/74 角 64n 飛 65n 飛 同角/74n 飛
 14n 飛 64n 飛 65n 飛/64 角 同銀/76n 飛
 16n 飛 56n 飛 55n 飛 同角/64n 飛
 14n 飛 54n 飛 55n 飛/54 角 56n 飛
 16n 飛 46n 飛 45n 飛 同角/54n 飛
 14n 飛 44n 飛 45n 飛/44 角 46n 飛
 16n 飛 36n 飛 35n 飛 同角/44n 飛
 14n 飛 34n 飛 35n 飛/34 角 36n 飛
 16n 飛 同角/34n 飛 14n 飛 64n 飛
 65n 飛/64 銀 66n 飛 16n 飛/66 角 56n 飛
 55n 飛 同角/66n 飛 16n 飛 56n 飛
 55n 飛/56 角 同銀/64n 飛 14n 飛 44n 飛
 45n 飛 同角/56n 飛 16n 飛 46n 飛
 45n 飛/46 角 44n 飛 14n 飛 34n 飛
 35n 飛 同角/46n 飛 16n 飛 36n 飛
 35n 飛/36 角 34n 飛 14n 飛 同角/36n 飛
 16n 飛 56n 飛 55n 飛/56 銀 54n 飛
 14n 飛/54 角 44n 飛 45n 飛 同角/54n 飛 14n
 飛 44n 飛 45n 飛/44 角 同銀/56n 飛
 16n 飛 36n 飛 35n 飛 同角/44n 飛
 14n 飛 34n 飛 35n 飛/34 角 36n 飛
 16n 飛 同角/34n 飛 14n 飛 44n 飛
 45n 飛/44 銀 46n 飛 16n 飛/46 角 36n 飛
 35n 飛 同角/46n 飛 16n 飛 36n 飛
 35n 飛/36 角 同銀/44n 飛 14n 飛 同桂/22n 飛
 25n 飛生 24n 飛 14n 飛/24 桂 同角/36n 飛
 35n 飛/36 銀 25 角 同 n 飛/35 角 同銀/36n 飛
 16n 飛 26n 飛 25n 飛/26 銀 まで 283 手

(詰上り)

										王	一
											二
										卒	三
								桂			四
							角	銀	卒		五
								銀			六
								卒	入		七
											八
											九

攻方持駒 なし
 受方持駒 なし

【解説】

本局は呼び出し機構の掛け算が主題です。
 最初の 16 手は序奏。ここから 9 筋に並んだ
 角と銀を呼び出して零王に近付けます。

とは言っても、基本的に一度に両方の駒を呼
 び出すことはできません。

中立駒の飛は四段目、五段目、六段目の 3 つ
 のレーンを自在に動かことができますが、玉は
 「零」、つまり不動なので、呼び出しは真ん中の
 五段目で行うしかありません。また、角や銀を
 呼び出す時、四段目と六段目の一方を呼び出す
 駒の待避用レーン、他方を飛の位置の調整用レ
 ーンとして用いねばなりません。従って 2 枚同
 時の呼び出しはできないのです。

ただ例外的に角と銀の両方を呼び出せる形
 があります。途中図に掲げた 73 手目の局面の
 ように、四段目と六段目の同じ筋に角と銀を並
 べることができれば、この二枚を 1 筋分右に寄
 せることができるのです。

ただし、その形を作るのは面倒です。

まず角を呼び出します。(なぜ銀でないのか
 は後で分かります。)

62 手目は角を 3 筋まで近付けたところ。

ここから角の待避用レーンを六段目から四
 段目に切り替えます (68 手目)。

そしてレーンを切り替えた後、ようやく角と
 銀を同じ筋の四段目と六段目に配置することが
 できました (73 手目)。このように角と銀の縦
 並びを作るには、銀を一旦中央レーンから外し、

銀の反対側のレーンに角を持って来なくてははいけません。そして、そのためには角を零王の隣（直下か直上）に置かねばなりません。呼び出すのが銀だと零王の隣まで運べないので、角の方を呼び出したのです。

角と銀を同時に一つ右に寄せる方法は、ここから 80 手目の手順の通りです。80 手目と 16 手目の局面と比べると、角と銀のペアが（上下が反転しているものの）1 筋分右に近付いたことが分かるでしょう。

後は同じ要領で、角を呼び出して、レーンを変え、角を遠ざけて角銀を呼び出し…という手順を繰り返します。

呼び出しの目的は二枚の駒を壁役にする事です。「中立駒は現手番側の駒を取れない」という性質があるので、中立駒の飛の両脇を 2 枚の駒で挟んで詰型を作るわけですね。

ただ、角と銀をそのまま収束に使うと、非限定が生じるため、桂を配置して手順を限定しました。更に、この桂の使用時期を限定するため自玉の配置が必要になりました。作者としてはとても残念なのですが、作意の完全性には代えられません。

今まで筆者は PWC で駒を運搬する作品をいくつか作りましたが、2 つの駒を運ぼうとすると非限定が生じ、単純な同時呼び出しさえ実現困難でした。本局で呼び出し機構の掛け算ができたのは、中立駒を使ったおかげです。

原理的には中立駒に頼らなくても、開き王手等で同様なことができるはずですが、本局ほど簡単に実現するのは困難でしょう。

中立駒のように、自分にとって経験の薄い駒でも、とりあえず試してみると、たまには良い拾いものができるようです。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

予測はしていたが、いざ 9 筋から銀の呼び出しが始まってみると驚きを禁じ得ない。
個人的には 36 は城（ルーク）にします。

たくぼんさん

中立駒を使いこのような面白い趣向が繰り出されるとは作者の発想力には脱帽です。この駒数で出来るのか！という思いです。それにしても中立駒と PWC って相性が良いんでしょうね。

今後も楽しめ（苦しめ）そうです。

☆本局もたくぼんさんが唯一の正解。

変寝夢氏はプログラムで解いた答えを見て、感想を送ってくれました。自力で解ければそれに越したことはないですが、本局のような作品だと「鑑賞」だけでも充分なので、感想を送って戴けると嬉しいです。

【総評】

変寝夢さん

結果稿が待ち遠しいです。

縫田光司さん

残念ながら作品での参加はできず（これまでの作品をどれか温存しておけばよかったかも）、解答も厳しい状況だったのですが、ギリギリで時間が取れたので、初見で解けた作品だけの解答ではありますが解答をお送りすることにしました。

まあ、参加することに意義がある、ということ…。

はなさかしろうさん

第 100 回おめでとうございます。

難しくほとんど手が出ませんでした。なおのこと解答発表を楽しみにしております。

たくぼんさん

久しぶりに頑張ろうと思い早めに手がけましたが、超大物に時間がかかりすぎて結局最後は時間切れ、ラストスパート時に体を壊して寝込んでしまったのが残念です（もっと早くからやれよ）。

投稿作も好作揃いで WFP 作品展ここにあり！でしたね。

☆第 100 回の記念回は素晴らしい作品が集まり、担当としても感謝の念に堪えません。ただ、力作が多い分、(実質) 解答者ゼロの作も出てしまったので、これらを再出題したいと思います。解答発表を楽しみされていた方には申し訳ありませんが、ぜひこの機会を活かして、解答をお寄せください。

以上

カピタン展示室 No. 29 解答

占魚亭 入選3回

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
				龍					四
			王						五
									六
	龍								七
									八
									九

持駒 Q

協力詰（ばか詰）先手後手協力して、最短手順で後手玉を詰ます。

持駒のQはチェスのクイーン（利きは飛十角。八方に走れる）

詰将棋は受方が最長になるよう応じるのがルールですが、協力詰（ばか詰）は双方が協力して最短で詰まします。協力詰では、出題時に手数が明示され（本作なら協力詰5手）、それより長い詰め方は不正解です。本作ではまた、普通の将棋駒に加えてチェスのクイーン（Queen）が登場しています。

この作品のように、盤、駒、ルールに何らかの変更を加えた詰将棋を、総称してフェアリー詰将棋と呼んでいます。

さて、本作、美しい無仕掛けの龍一色図式。持駒Q1枚だけでは詰む形が作れないので、何か駒を入手する必要があります。

強力な龍が2枚も守っているのので、この龍を取りに行きたくなります。龍を取るには4手かかりますから、詰むとしたらそのあと飛打の1手詰。結論からいうと、Qと飛では詰み形が作れません。例えば95Q、85龍、同Q、64玉、63飛。54が飛なら詰むけど同龍でダメ。

龍を取るのがダメなら、何か合駒させてそれを取って打ち詰ますことはできないか、といろいろ試していると正解が見えてきます。

69Q、68金合、同Q、56玉、46金まで5手

作者「チェスのQ（クイーン）を使った協力詰です。初形が取り柄の平凡な手順ですが、Qの打ち場所がちょっとした考え所でしょうか。」

分かってしまえば何とすることもない手順ですが、Qで王手できる打場所は24か所もあり、合駒の可能性もたくさんあるので、案外見えにくいかもしれません。

解きたくなるきれいな形と手数に、フェアリールールとフェアリー駒。フェアリー詰将棋の入門にぴったりの作品でした。

一つ問題が。
池田俊哉さん：クイーンの脚の長さを生かした詰め上がり。二手目Q合はできないのかな
ハマGさん：66Q打まで5手 受け方持駒にQ1枚ありと解釈しました

諏訪冬葉さん：（おもちゃ箱掲示板）カピタン展示室29ですが、玉方が合駒にクイーンを使用するのはなしでしょうか？

先手が使えるなら後手が使えても問題ない気がするのですが・・・フェアリー駒を使用した作品は、一般に明示されている以外のフェアリー駒はないと想定されていると思います。

出題時に書いておくべきでした。すみません。今回はクイーン合をした解答も正解としました。

それでは、みなさんの感想を。解答到着順です。

鳥本敦史さん：龍を取る順は何をやってもダメなので合駒金までは割と素直に到達出来ましたが、そこから難儀しました。

2枚の龍の守備をかいくぐるこの詰上がりが浮かんだときは嬉しかったです。また作ってください。

山下誠さん：龍を取る手をずいぶん考えてしまった。素朴な初手がいい感じでした。

小山邦明さん：金の中合は詰将棋のような玉方の協力詰の好手。

津久井康雄さん：ばか詰には慣れていなくて苦戦。詰め上がりから逆算してなんとか。

初解答ありがとうございます。展示室ではいろいろなタイプの詰将棋を出題しますので、お好きな詰将棋をお楽しみください。

S.Kimura さん：金を取って金打ちまでは予想したのですが、Q を真下から打つ手をうっかりしていました。

占魚亭さん：自作。基本の詰み形です。

変寝夢さん：2枚龍の位置がうまい

市橋宗士さん：（えっー、ごめんなさい、カピタン協力詰、理解できていません。）

解説をごらんください。わからないことがあれば、おもちゃ箱掲示板やメールで遠慮なくご質問を。

波多野賢太郎さん：Qに慣れていなかったので詰上がりもイメージできなくて悩みました。龍を取るんじゃないのが意外で良かったです。

たくぼんさん：本命は92Q、83龍でしたが散々動かした挙句詰まない。割と地味な（失礼）手順が盲点で苦勞しました。

カピタン展示室No. 29 解答：12名
全員正解

池田俊哉さん S.Kimura さん キリギリ
スさん 小山邦明さん 占魚亭さん たく
ぼんさん 津久井康雄さん 鳥本敦史さん
波多野賢太郎さん ハマGさん 変寝夢さ
ん 山下誠さん

Fairy TopIX2017投票結果

2017年のFairy TopIX投票結果発表です。

投票者は、青木裕一、変寝夢、橋本孝治、縫田光司、占魚亭、井上順一、Pontamon、はなさかしろう、詰ガエル、soga、酒井博久、たくぼん（敬称略）以上12名でした。昨年と同じ投票者数でしたが、10日までには数名程度でしたのでお願いメールをさせて頂きました。対応頂いた方々にはお礼申し上げます。

2017年にネット上で発表された候補作は、短編140作（前年133作）、中編17作（前年27作）、長編18作（前年24作）、推理将棋（短中長）31作（前年36作）、の計206作（前年220作）でした。総数は昨年より14作減。部門別ではフェアリー作品中長編が少なかった印象です。

では各部門別に発表します。申し訳ありませんが敬称は略させていただきますのでご了承下さい。

今回の投票結果で史上初の快挙、短・中・長編の部1位を青木裕一さんが成し遂げました。素晴らしい快挙です。2018年度も注目ですね。

【短編部門】

投票者：橋本孝治、変寝夢、井上順一、占魚亭、縫田光司、詰ガエル、青木裕一、soga、Pontamon、はなさかしろう、たくぼん 計11名

短編部門、1位は青木さんの全取禁限定協力詰でした。今回の投票の特徴は1位票が分かれたことです。11名中9名の方が異なる作品を1位に推しました。飛びぬけた作品が無かったのかもしれない。

記載は、順位、一覧の番号、作者名、出題年月、出題場所、ルール、手数、お気に入り投票ポイントです。同位の場合は一覧の番号順に記載しています。



🌀 1位 短 43 青木裕一 2017/5
第92回 WFP 作品展 92-8

12pt

全取禁限定協力詰 15手

					皇			王	一
					皇				二
					皇				三
					歩	歩	歩	歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛角金銀3歩2

12歩 22玉 11銀 31玉 13角 21玉
22歩 32玉 21銀 33玉 31飛 23玉
32銀打 33玉 23金 まで 15手

(詰上り)

					皇	飛	銀	銀	一
					皇	銀	歩	歩	二
					皇	王	金	角	三
					歩	歩	歩	歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞コメント 青木裕一

限定ルールで何かできないかな、と考えていたら本作のネタを思いつきました。作る側としても解く側としても手を付けやすそうな3×3

で創作し、サイズ変更なのは考えませんでした。
解説で百も承知と書かれましたが、実際は一も承知してません。

★ シンプルなパズルのように見えて解くのはなかなか一筋縄ではいかない作品。

占魚亭 1位

この作品、解けなくて悔しかったんですよ。

はなさかしろう 2位

箱詰めパズルみたいで真っ先に手が伸びました。

詰ガエル 2位

シンプルな設定かつ程よい難易度でパズルとして面白い。

たくぼん 次点

単純そうに見えて結構考えさせられた。過去に私もこういう作品を創ろうとして挫折した経験がありこれはさすがと思った。

**🌀 2位 短 46 縫田光司 2017/5
第 92 回 WFP 作品展 92-14**

10pt

N×9盤詰将棋 5手

	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						鬼			六
							銀		七
							仲	ス	八
						襲			九

持駒 銀X

※N≥8

仲：仲人王

鬼：最も近い敵駒を取る。

位置は([N/4]+2, 6)。

X：覆面(m,0)-rider(m≥2)

(すべてのNについて同一) 27 銀 39 仲 19X
(=(±2,0)-rider) 同と 28 銀 まで 5手

(詰上り)

	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						鬼			六
							銀		七
							銀		八
						襲	仲	ス	九

持駒 なし

※鬼の位置は8≤N<12の例

受賞コメント 縫田光司

本作が2位入賞とのご連絡をいただき、とても嬉しく思います。本作に投票して下さった皆様にお礼申し上げます。それと同時に、本作のような変則的な作品でも受け入れてもらえるWFP作品展という場の懐の深さに感じ入る次第です。しかし、自分で投稿しておいて何ですが、よくこんな作品に作者以外の正解者が出たよなあ（しかも複数人）、と改めて思います。強者揃いの作品展解答者の皆様と、作品展担当の神無七郎氏に感謝いたします。そしてもちろん、WFP発行者のたくぼん氏にも最大限の感謝を申し上げます。いつも本当にありがとうございます。

★ 私にはさっぱりですので解説を読んで頂きましょう（笑）

橋本孝治 1位

数学の定理と詰将棋を直接結びつけた画期的作品。事実上「覆面ライダー」というアイデア一発で、ベルトラン仮説を盤上で表現しています。「短 87 2017/10 縫田光司作」も同じ路線の作品で、可知と不可知の境界線について考えさせるという点で、とても面白かったのですが、それを成立させるための舞台装置が複雑で、無理作りの感が否めません。本局くらいのシンプルさで表現できていれば「短 87」の方に投票したと思います。

青木裕一 1位

フェアリー詰将棋で数学の理論を表現するな

んて斬新！

🌀 2位 短 109.110 尾形充 2017/11
第 97 回 WFP 作品展 97-18a

最悪詰 10手 ※受先

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
								王	三
						龍			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

32 角 21 金 同角 12 金 同角 31 龍 21 桂 同龍
同角 23 桂 まで 10 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
							桂	王	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

最悪詰 10手 ※受先

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
								王	三
						龍			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2

10pt

31 飛 21 金 同飛 22 金 同飛 41 龍 21 香 同龍
同飛 12 香 まで 10 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
								飛	王	一
									香	二
								王		三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

受賞コメント 尾形充

それぞれの作意に特段の妙味はありませんが、超簡素形の仕上がりは気に入っています。手順構成については、揃えてスタートラインでしょうか。2解、ツインの作品では、作意が全く別手順であったり、対比表現がややこじ付けとを感じる作品を時々目にすることもあり、その反発の気持ちも少しはありました(笑)。

★ 候補作一覧では各々を1つの作品として掲載しましたが、全ての投票者が2作のツインとして投票されました。それほど見事なツインだった証だと思います。

青木裕一 2位

ツインなので2つで1作ということで。簡素型で手順の対比までできるなんて上手すぎます。

たくぼん 2位

簡素な形で飛と角の対比など素晴らしいツイン。

井上順一 3位

ツインとしての評価ですが、この2題の対照性はすばらしい。

橋本孝治 3位

ツイン(組局)で一番面白いのは、作者が何もしていないように見えるほどの自然さで、ツインに求められる形式美を満たす場合だと思います。本局はその自然な形式美によって、強く印象に残っています。

4位 短 31 ほっと 2017/4
第 91 回 WFP 作品展 91-9

天竺強欲詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
飛								飛
角							桂	
王								角

持駒 なし

21 角生 91 玉 16 桂 19 玉 24 桂 11 玉 12 桂
成まで 7手

Pontamon 1位
4 隅の駒配置に驚いた。

4位 短 58 変寝夢 2017/8
第 94 回 WFP 作品展 94-6

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								王
							馬	

攻方持駒 n角n香
受方持駒 なし
※n角、n香は中立駒

12n 香 同角 99n 角 33n 香 31n 香成 まで 5
手

はなさかしろう 1位
簡素な図の中に中立の走り駒の面白さが凝縮

されていて、じつに解き心地爽快でした。

4位 短 63 上谷直希 2017/9
第 95 回 WFP 作品展 95-1

協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						王		雀
								王
								龍
						龍		
						馬	桂	

持駒 香

36 龍 26 桂 27 龍 同龍 19 香 18 桂成 同香 17
龍 28 桂 まで 9手

井上順一 1位
2 段目の桂合を入手するという狙いがいい。

4位 短 72 縫田光司 2017/9
第 95 回 WFP 作品展 95-11

レトロ協力詰 -2+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
						▲	王	飛

攻方持駒 なし
受方持駒 残り全部+碇
※▲：攻方覆面駒
碇：Orphan

31 飛(+35 碇) 32 ▲(=角) / 65 角成 まで -2+1 手

たくぼん 1位

この短手数で結構考えたのだが、この順は全く考えもしませんでした。一番の衝撃でした。

4位 短 73 尾形充 2017/9
第 95 回 WFP 作品展 95-12

5pt

安南詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					銀				一
									二
					馬				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩

42馬 32桂 24馬 同桂 16歩 同桂 42角成 32桂 26桂 まで 9手

占魚亭 2位

2度の32桂がほんとうに素晴らしいです。

たくぼん 3位

32桂が2度出るといのは凄い。

4位 短 75 神無太郎 2017/10
第 96 回 WFP 作品展 96-2

5pt

成禁協力詰 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 n香2

受方持駒 飛を除く残り全部 (中立駒)

59n香 47玉 49n香 48n角 57n角 48n桂 同n香 56玉 66n角 58n角 76n角 58n桂 68n桂 まで 13手

変寝夢 1位

圧倒的な詰め上がりに感服

4位 短 87 縫田光司 2017/10
第 96 回 WFP 作品展 96-sp1

5pt

禁欲協力自玉多玉詰 2手

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
●	●	*	*	*	*	*	*	*	●	●	一
●	●	*	*	*	*	*	*	*	●	●	二
零	●								●	▽	三
零	●								●	▽	四
零	●								●	▽	五
零	●								●	▽	六
零	●								●	▽	七
●	●	*	*	*	*	*	*	*	●	●	八
●	●	*	*	*	*	*	*	*	●	●	九
●	●	*	*	*	*	*	*	*	●	●	一〇
包	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	一一

攻方持駒 城

受方持駒 零

※迷彩中立駒 (Orphan) 14枚使用

城; Rook-hopper

包: Pao (中国象棋の包)

零: (0,0)-Leaper王

(受方持駒の零も王属性)

●: 不透過・不可侵駒 (ジャンプ可)

*: 駒打禁止地点 (移動・通過・存在は可)

△: 覆面駒王 (種類は通常駒及び

城包零駒のいずれか)

53城 同△ (=包) まで 2手

詰ガエル 1位

素因数分解を迷彩駒で実現するためのアイデアが面白い。



4位 短 133 高坂研 2017/3
教材に使えるフェアリー作品展⑮

協力詰 3手 (透明駒 0+2)

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
					龍				五	
									六	
						王	銀		七	
								飛	八	
								王	馬	九

持駒 なし

28馬 1x28 --I 迄 3手

縫田光司 1位

個人的にこの手の作品は大好きです。

12位 短 22 尾形充 2017/3
第90回 WFP 作品展 90-8

最悪詰 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						角		王	一
									二
							王		三
									四
									五
							飛		六
									七
									八
									九

持駒 なし

16飛 15銀 同飛 14銀 同飛 13銀 22銀 同角
13飛生 同角 22銀 同角 12銀 まで 13手

縫田光司 3位

5pt

同氏の最悪詰では中編部門4番(四桂連合)の印象が強烈ですが、本作も簡素な舞台装置での三連銀合が素晴らしいと思います。

変寝夢 次点

昔からあるテーマだが、これだけシンプルなまとまりに1票

青木裕一 次点

簡素な形で3連合。本作で最悪詰の可能性を知りました。



12位 短 44 変寝夢 2016/9
第92回 WFP 作品展 92-9

4pt

リパブリカン協力白玉詰 14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			將						一
									二
						王			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩4

34歩 43玉 44歩 42玉 33歩成 53玉 54歩
63玉 64歩 52玉 43と 51玉 52と 同銀(+53王) まで 14手

縫田光司 2位

攻方王のドジっ子ぶりが楽しいこのルールの中でも、惚れ惚れするような自爆っぷりが際立つユーモア作品と思います。

たくぼん 次点

この詰上りが浮かぶまではかなり手を捜しましたが、気付いてからは「やられたな〜」って感じで苦笑いでした。

12位 短93 神無太郎 2017/11
第97回 WFP 作品展 97-5

協力白玉詰 8手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

				王					一
				料					二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
				王					九

攻方持駒 nG4

受方持駒 残り全部+nG4

※nG：中立Grasshopper

58nG 57桂 53nG 42玉 75nG 48nG 43nG
47桂 まで 8手

変寝夢 2位

4 2 ~ 7 5 打のコンビネーションが心地よい

橋本孝治 次点

盤上に出現する2つの四角い塊。氏の昨年の発表作の中では易しい部類に入りますが、最も「美」を感じさせてくれたのがこの作品です。

15位 短1 占魚亭 2017/1

第88回 WFP 作品展 88-1

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
	皇								三
	皇								四
				王					五
									六
		王	■		飛				七
				皇					八
									九

持駒 飛

※■:Imitator

4pt

35 飛 57 桂 76 王[I56] 66 金 同王[I46] 49 桂成 [I38] 75 王[I47] 66 馬[I65] 55 金 まで 9手

橋本孝治 2位

受方の玉が不動で、攻方の玉が動き回るとい
うフェアリーらしい異常な手順。Imitatorの
性質を活用した読みづらい手が、9手も続く
難解作ですが、難解性を度外視しても高い価
値がある作品だと思います。

15位 短21 上谷直希 2017/3

第90回 WFP 作品展 90-6

3pt

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
					金	王	驥		五
									六
						歩	歩		七
									八
						桂	香		九

持駒 なし

26 歩 同龍 37 桂 24 玉 35 金 15 玉 16 歩 同
龍 25 金 まで 9手

3pt

Pontamon 2位

協力詰 9手でのピンメイト。



15位 短90 神無太郎 2017/11
第97回 WFP 作品展 97-2

打歩協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
					王				六
									七
									八
									九

持駒 n銀2n歩

※攻方持駒の銀歩は中立駒

47n 銀 37 玉 38n 歩 27 玉 38n 銀 39n 銀成
28n 銀 18 玉 19n 歩 まで 9手

井上順一 2位

打歩詰なのに、途中で歩を打ってしまうのが
予想外。

18位 短24 神無太郎 2017/4
第91回 WFP 作品展 91-2

協力自玉スタイルメイト 9手 ※受先

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
王									三
									四
							王		五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 G4

受方持駒 残り全部+G5

※G:Grasshopper

83 飛 23G 33 桂 43G 打 84 飛 57G 66 飛 75
G 打 94 飛 まで 9手

はなさかしろう 3位

2pt

難しかったのですが、本間にグラスホッパー
の楽しさを教わりました。

18位 短35 尾形充 2017/4
第91回 WFP 作品展 91-13

最悪詰 15手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
					龍				三
									四
								王	五
								香	六
									七
							香		八
									九

持駒 なし

13 龍 14 桂 同龍 同玉 26 桂 25 玉 34 桂 27
香 同香 26 桂 同香 15 玉 27 桂 14 玉 15 香
まで 15手

井上順一 次点

解答時には正解できなかったが、手順がみごと。

はなさかしろう 次点

本間に最悪詰の楽しさを教わりました。あたまが
振じれそうです。

18位 短52 変寝夢 2017/7
第93回 WFP 作品展 93-9

リパブリカン 対面協力自玉詰 4手 ※2解

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
科									三
									四
									五
					ス				六
									七
王									八
									九

攻方持駒 角

受方持駒 なし

2pt

2pt

- a) 99角 87玉 77角 94と(+95王) まで 4手
- b) 87角 86と 76角 85桂(+87王) まで 4手

井上順一 次点

この駒数で、この2解はすごい。

たくぼん 次点

B手順は解けなかったの。

18位 短 100 占魚亭 2017/11
第97回 WFP 作品展 97-11

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
				■					三
									四
	王								五
									六
								王	七
									八
									九

持駒 飛角

※■: Imitator

19飛 41角 44角 85角[I87] 84王[I96] まで 5手

変寝夢 3位

imitator 使用の協力詰にありがちなベタベタ感がない



18位 短 114 上谷直希 2017/7
Fairy of the Forest #52-02

2pt

									9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																			一
																			二
															科	科	爵		三
															飛	ス	皇		四
																	王		五
																			六
																		玉	七
																			八
															皇	龍			九

持駒 なし

35飛 25馬 同飛 同と 24角 同と 35龍 25角
26龍 まで 9手

青木裕一 3位

成ってある駒を生に変える。協力詰にもいろいろテーマがあるのですね。

23位 短 33 占魚亭 2017/4
第91回 WFP 作品展 91-11

1pt

PWC協力詰 11手

									9	8	7	6	5	4	3	2	1		
																			一
																			二
																			三
																			四
																			五
																			六
																			七
																			八
																			九

持駒 角

※■: Imitator

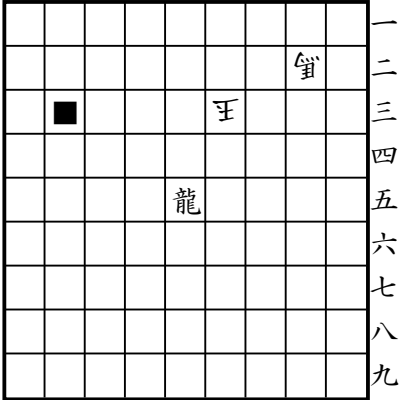
47角 同龍上/43角[I66] 54角成[I77] 46玉[I87]
36馬[I69] 同龍/47馬[I58] 57馬/47龍[I68] 55
玉[I77] 66馬[I86] 45玉[I76] 55馬[I65] まで
11手

はなさかしろう 次点

詰め上がりが美しく、手順はすさまじい。イミテーターがトラウマになってしまった感があります。

23位 短 34 占魚亭 2017/4
第91回 WFP 作品展 91-12

AntiAndernach協力詰 7手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 銀
※■:Imitator

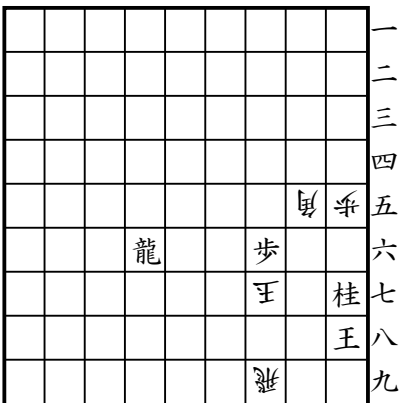
34 銀 92 角 54 龍 転[I82] 81 角 転[I71] 54 角 成 [I44] 23 馬 転[I45] 44 飛 まで 7手

変寝夢 次点

anti-anderenach + imitator の可能性を感じさせてくれた。

23位 短 62 尾形充 2017/8
第94回 WFP 作品展 94-11

最悪詰 13手
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 桂 香

1pt

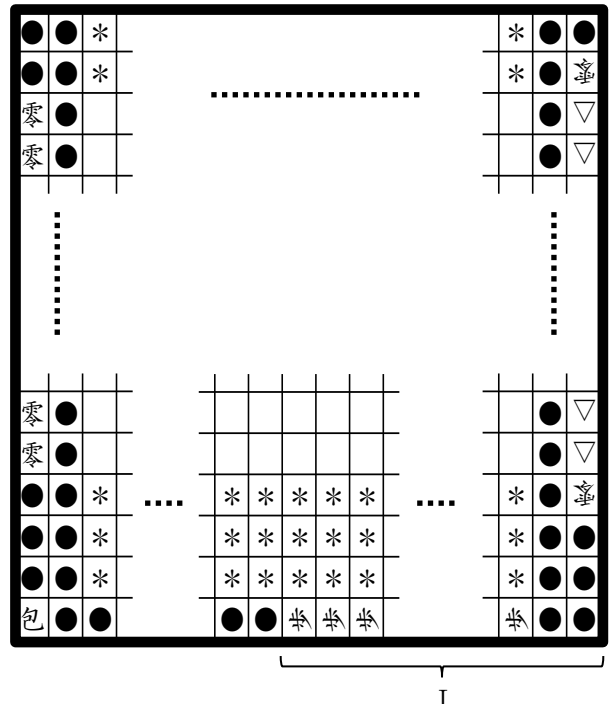
46 龍 26 玉 35 龍 16 玉 26 龍 同玉 38 桂 同 飛 成 28 香 27 龍 同香 16 玉 26 飛 まで 13手

橋本孝治 次点

宗看流龍の押し売り。攻方だけでなく、受方まで龍を押し売りする展開にしたことで、作品に一貫したストーリーが生まれています。

23位 短 88 縫田光司 2017/10
第96回 WFP 作品展 96-sp2

1pt



(a, b)城 同△ (=包) まで 2手

soga 次点

素因数分解を利用した、現状事実上解けない (!) 作品。WFP111号の双子素数問題も興味深い作品でした。



23位 短 97.98 占魚亭 2017/11
第97回 WFP 作品展 97-9a

1pt

AntiAndernach協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			金						一
									二
									三
				金					四
					王				五
							飛		六
									七
				金					八
									九

攻方持駒 飛
受方持駒 なし

95 飛 65 金転 74 金転 85 馬転 74 馬 46 玉 47 金 まで 7手

AntiAndernach協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			金						一
									二
									三
				金					四
					王				五
							飛		六
									七
				金					八
									九

攻方持駒 飛
受方持駒 なし

15 飛 25 馬上転 52 馬転 25 馬引転 52 馬 44 玉 66 角 まで 7手

橋本孝治 次点

初手の遠打が右か左かで主役が変わる2解物。AntiAndernach という、どう扱えば良いか分からないルールで、金鋸と先後の馬の往復運動という汎用性が高く、応用も効きそうな手順を見せてくれた良作だと思います。

【短編部門 総評】

橋本孝治

今期の短編部門は作品が充実しており、投票したい作品が多くて困りました。「教材に使えるフェアリー作品展」にも面白い作品はあったのですが、作品性を重視する余り、「教材」の枠を逸脱した作品が多いように感じました。今回の投票に含まれていないのはそのためです。

変寝夢

シンプルに表現した対抗系もいいのですが、やはりボリューム感溢れる作品が好みます。

はなさかしろう

すごい問題が数ある中で、自分で解いて楽しかった問題を選びました。真っ先に手が伸びて難度もほど良いぐらいが親しみやすいです。

【中編部門】

投票者：変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、井上順一、縫田光司、soga、たくぼん 計8名

中編部門の投票者は8名でした。2016年は27作でしたが2017年は17作と発表作が大幅減となりました。1位は青木裕一氏の趣向作。2位は神無太郎氏の中立駒の協力自玉スタイルメイト。3位は尾形充氏の最悪詰です。

🌀 1位 中8 青木裕一 2017/8
第94回 WFP 作品展 94-5

26pt

強欲成禁協力詰 49手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
■									一
							飛	金	二
					金			金	三
							飛	金	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛
※■:Imitator
零:(0,0)-leaper 王

33 飛 23 飛 同飛生[I81] 同角[I92] 11 飛 12 飛
 同飛生[I93] 同角[I82] 33 飛 23 飛 同飛生[I72]
 同角[I83] 11 飛 12 飛 同飛生[I84] 同角[I73]
 33 飛 23 飛 同飛生[I63] 同角[I74] 11 飛 12 飛
 同飛生[I75] 同角[I64] 33 飛 23 飛 同飛生[I54]
 同角[I65] 11 飛 12 飛 同飛生[I66] 同角[I55]
 33 飛 23 飛 同飛生[I45] 同角[I56] 11 飛 12 飛
 同飛生[I57] 同角[I46] 33 飛 23 飛 同飛生[I36]
 同角[I47] 11 飛 12 桂 同飛生[I48] 同角[I37]
 25 桂 まで 49 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞コメント 青木裕一

1 サイクルで Imitator の位置だけが変わるというアイデアを実現する方法はいくつかありましたが、最終的にこの構図になりました。

Imitator を使った作品は難解になりがちなので、本作や長 2 のような趣向の方が解答者にとって楽しみやすいのかもしれませんが。

★ 投票者 8 名中 4 名の 1 位票と断トツでした。Imitator の作品は難解な作品が多いのですが、本作は意外と解きやすく、またその Imitator の鋸引が出現する意外性が投票者の印象に残ったようです。

橋本孝治 1 位

「鋸引」は軌跡を見せる趣向の代表格ですが、まさか Imitator で鋸引が見られるとは思いませんでした。まるで千日手のような繰り返しが続く中、「影」だけがじわじわと移動する様子は幻想的です。

井上順一 1 位

イミテーター使用作品で唯一解いた作。狙いがわからなくても、手を進めていくと狙いがわかる。

占魚亭 1 位

通常盤でも設定次第で Imitator 使用の趣向作が出来ると分かり、たいへん勉強になりました。

たくぼん 1 位

とにかく Imitator の趣向作は楽しかったです。

変寝夢 2 位

imitator の馬鋸にびっくり

縫田光司 2 位

軽趣向ながら面白い手順でした。Imitator の平和的(?)な利用法でしょうか。

2 位 中 14 神無太郎 2017/9

フェアリー版くるくる作品展 7 くるくる 13

11pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 n歩15

22n 歩 同 n 角 31n 角成 13n 馬 22n 歩 31 玉
 21n 歩生 14n 馬 32n 歩 41 玉 31n 歩生 15n
 馬 42n 歩 51 玉 41n 歩生 16n 馬 52n 歩 61
 玉 51n 歩生 17n 馬 62n 歩 71 玉 61n 歩生
 18n 馬 72n 歩 81 玉 71n 歩生 19n 馬 82n 歩
 91 玉 81n 歩生 29n 馬 92n 馬 同玉 93n 歩 同
 玉 94n 歩 同玉 95n 歩 同玉 96n 歩 同玉 97n
 歩 同玉 98n 歩 同玉 99n 歩 同玉 まで 48 手

最終図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 なし

受賞コメント 神無太郎

投票いただいた皆さまありがとうございました。正直なところ、思いがけない受賞で驚いています。中立駒を扱い始めたばかりで、まだ加減がよくわかっていない頃の作なので、その適度さが良かったのでしょうか。やり過ぎな作も好きなので、どちらもやっていきたいと思いません。

★ 中立駒の手筋の先駆的な作品でしょうか。くるくるにはしては難しすぎたのは担当者として申し訳ない次第。しかし内容的にはやはり抜けていたようです。

変寝夢 1位

長編並にボリュームー

橋本孝治 2位

最終形で一段目に並ぶ歩は壮観。作品としては申し分ないですが、中立駒の手筋があまり知られていない現状でこれを「フェアリー版くるくる作品展」で出したのは失敗だと思います。

たくぼん 2位

先に解答を見た関係で、分りやすい論理性で楽しめるのではないかと思いましたが、難しかったんですね。

3位 中4 尾形充 2017/4
第91回 WFP 作品展 91-14

10pt

最悪詰 21手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
	飛								三
									四
							歩	歩	五
								王	六
								角	七
								馬	八
						馬	王		九

持駒 銀

27 銀 同玉 87 飛成 77 桂 同龍 67 桂 同龍 57 桂 同龍 47 桂 同龍 16 玉 27 龍 同玉 19 桂 17 玉 29 桂 26 玉 38 桂 16 玉 28 桂 まで 21 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							歩	歩	五
								王	六
									七
						桂	桂	馬	八
						馬	王	桂	九

持駒 なし

受賞コメント 尾形充

発表時コメントにもあるとおり、連取り中の変化設定にこだわりました。終始やや機械的な印象もありますが、お気に入りの一つなので評価いただけて嬉しいです。配置については、七郎氏の修正案「攻方 36 歩・受方 49 銀→攻方 26 歩」に脱帽しました。49 銀が消えただけで連続合の景色が違って見えますね。ありがたく頂戴いたします。

★ 桂の4連合からの四桂詰。これだけでもインパクト抜群。票を伸ばしました。

縫田光司 1位

「ひょっとしてこれが作意なのか」と気が付いてから、手順の成立を確認する過程が至福の時間でした。舞台装置の簡素さも流石の一言です。

変寝夢 3位

最悪詰だからといって4連合が作りやすいとも思わないので。

橋本孝治 3位

最悪詰で連続合は決して珍しいものではありませんが、それを四桂詰に仕上げたのが作者の腕前。ちょっとした工夫で49銀は省けるので、その点だけが残念です。

たくぼん 次点

桂の連合はある順としても楽しめる内容でした。

4位 中3 上谷直希 2017/3

第90回 WFP 作品展 90-7

協力白玉詰 40手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
	銀									六
	王	歩	飛							七
			香							八
		王	入	香	飛					九

持駒 角

97角 88角 同角 68玉 77角 79玉 68角 同玉 77銀 79玉 97角 88角 同銀 68玉 95角 86金 同角上 77銀 79銀 同玉 97角 89玉 88金 79玉 77金 68玉 76金 86金 同角引 77銀 79角 同玉 97角 88角 78金 89玉 79金 同角成 78銀 同馬 まで 40手

青木裕一 2位

詰みそうにない攻方王。これが詰む。

占魚亭 2位

解くのにかなり難儀した作品。

縫田光司 3位

散々考えた末に白旗を上げた後、作意手順を見て「やられた」と感じたのが印象に残っています。

soga 次点

金駒が飛び交うのと裏腹に、細やかなでテクニカルな手順が楽しい。

5位 中10 神無太郎 2017/9

第95回 WFP 作品展 95-6

修正図 2017/12 発表

5pt

協力白玉スタイルメイト 32手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
		▽	▲			▽	▲			二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 ▲15

※▲：攻方覆面駒

▽：受方覆面駒

82▲ 同△ 91▲ 81玉 82▲打 71玉 81▲打 62玉 71▲打 61玉 62▲打 51玉 61▲打 42玉 51▲打 61玉 42▲打 31玉 41▲打 22玉 31▲打 11玉 21▲ 12玉 14▲ 23玉 24▲打 33玉 11▲打 34玉 22▲(24) 14△ まで 32手

青木裕一 1位

攻方の駒がなくなるまで消しても2手足りない。手順まで限定されるのはすごい。



6位 中11 尾形充 2017/9
第95回 WFP 作品展 95-13

最悪詰 29手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
								一
								二
								三
								四
								五
							飛	六
		飛				王		七
				雀		歩	歩	八
					王	雀	ス	九

持駒 なし

69 飛 59 銀 同飛 同馬 48 銀 同馬 36 飛 37 馬
同飛 38 馬 同飛 29 玉 39 飛 同玉 93 角 48 銀
同角成 29 玉 39 馬 同玉 93 角 48 銀 同角成
29 玉 39 馬 同玉 48 銀 29 玉 38 銀 まで 29
手

青木裕一 3位

攻方の駒がきれいにさばける。

占魚亭 3位

尾形さんの最悪詰の中で一番好きです。

7位 中12 尾形充 2017/10
第96回 WFP 作品展 96-14

最善白玉詰 16手

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				雀	王	王		一
							歩	二
			と				駒	三
			龍					四
								五
								六
								七
								八
								九

持駒 桂

34 龍 33 角 同龍 32 金 42 角 41 玉 31 角成
同玉 22 龍 41 玉 33 桂 同金 31 龍 同玉 42 と

同玉 まで 16手

4pt

井上順一 2位

持角を原形のままで消去するのがおもしろい。

8位 中6 神無太郎 2017/7
第93回 WFP 作品展 93-2

2pt

協力詰 31手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						○		王	一
						○			二
						○	○	歩	三
									四
									五
									六
				夜					七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※夜: Nightrider

○: 穴 (着手不可、通過可)

95 夜 21 玉 57 夜 12 玉 36 夜 11 玉 74 夜 22
玉 58 夜 12 玉 96 夜 21 玉 84 夜 22 玉 46 夜
12 玉 54 夜 21 玉 42 夜 22 玉 34 夜 21 玉 13
夜 22 玉 34 夜 21 玉 22 歩 11 玉 21 歩成 12
玉 22 と まで 31手

3pt

井上順一 3位

思ったより手が限られていて楽しめた。



8位 中 15 神無七郎 2017/12
 ちょっと早い 2018 年年賀詰作品展 2

2pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
				香					二
				馬					三
				金					四
				金					五
				金					六
				金					七
				銀					八
				歩					九

持駒 角桂4歩

52 馬 同玉 44 桂 42 玉 53 金 同玉 45 桂 63
 玉 54 金 同玉 21 角 44 玉 36 桂 34 玉 33 桂
 成 同玉 34 歩 同玉 45 金 同玉 37 桂 36 玉
 54 角成 37 玉 38 歩 同玉 49 銀 同玉 76 馬 59
 玉 58 馬 まで 31 手

たくぼん 3位

これを完全で仕上げる創作力に感服です。

10位 中 7 神無太郎 2017/7
 第93回 WFP 作品展 93-3

天使自玉スタイルメイト 34手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							○	王	一
							○		二
							○	○	三
									四
								香	五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 夜

受方持駒 なし

※夜: Nightrider

○: 穴 (着手不可、通過可)

95 夜 21 玉 57 夜 12 玉 36 夜 11 玉 74 夜 22
 玉 58 夜 12 玉 96 夜 21 玉 84 夜 22 玉 46 夜
 12 玉 54 夜 21 玉 42 夜 22 玉 34 夜 11 玉 53

夜 21 玉 45 夜 12 玉 24 夜 22 玉 43 夜 11 玉
 35 夜 22 玉 14 夜 同金 まで 34 手

変寝夢 次点

協力詰の2作よりスッキリしている感じがし
 ます

【中編部門 総評】

橋本孝治

中編は作品数がやや少なめ。神無太郎氏や、
 はなさかしろう氏の覆面駒作品も印象に残
 っているのですが、修正図が完全かどうか確
 信を持ってないので、投票を見送りました。

変寝夢

このジャンルは対抗系が合いそうな気がしま
 す

【長編部門】

投票者: 変寝夢、橋本孝治、青木裕一、占魚亭、
 井上順一、縫田光司、Pontamon、soga、酒井博
 久、たくぼん 計10名

長編部門の投票者は10名でした。1位と3
 位に青木さんの趣向作が入りました。2位は一
 乗谷酔象さんの超長編です。

1pt

🌀 1位 長 2 青木裕一 2017/3
 第90回 WFP 作品展 90-5p

26pt

『メビウスの帯』

縦シリンダー盤協力詰 109手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							●	●	一
							○		二
						●	王	●	三
						●		●	四
						●		●	五
						●	●	●	六
						●			七
						●			八
						●			九

攻方持駒 飛

受方持駒 香

※■: Imitator

●: 石 (着手不可、不透過)

○: 穴 (着手不可、透過可)

35 飛 34 香 同飛[I71] 22 玉[I69] 33 飛成[I68] 同玉[I79] 35 香 34 飛 同香[I78] 22 玉[I67] 33 香成[I66] 同玉[I77] 35 飛 34 香 同飛[I76] 22 玉[I65] 33 飛成[I64] 同玉[I75] 35 香 34 飛 同香[I74] 22 玉[I63] 33 香成[I62] 同玉[I73] 35 飛 34 香 同飛[I72] 22 玉[I61] 33 飛成[I69] 同玉[I71] 35 香 34 飛 同香[I79] 22 玉[I68] 33 香成[I67] 同玉[I78] 35 飛 34 香 同飛[I77] 22 玉[I66] 33 飛成[I65] 同玉[I76] 35 香 34 飛 同香[I75] 22 玉[I64] 33 香成[I63] 同玉[I74] 35 飛 34 香 同飛[I73] 22 玉[I62] 33 飛成[I61] 同玉[I72] 35 香 34 飛 同香[I71] 22 玉[I69] 33 香成[I68] 同玉[I79] 35 飛 34 香 同飛[I78] 22 玉[I67] 33 飛成[I66] 同玉[I77] 35 香 34 飛 同香[I76] 22 玉[I65] 33 香成[I64] 同玉[I75] 35 飛 34 香 同飛[I74] 22 玉[I63] 33 飛成[I62] 同玉[I73] 35 香 34 飛 同香[I72] 22 玉[I61] 33 香成[I69] 同玉[I71] 35 飛 34 香 同飛[I79] 22 玉[I68] 33 飛成[I67] 同玉[I78] 35 香 34 飛 同香[I77] 22 玉[I66] 33 香成[I65] 同玉[I76] 35 飛 34 香 同飛[I75] 22 玉[I64] 33 飛成[I63] 同玉[I74] 35 香 34 飛 同香[I73] 22 玉[I62] 33 香成[I61] 12 玉[I51] 22 飛 まで 109 手

(詰上り)

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

受賞コメント 青木裕一

久保氏の最小公倍数原理の普通詰将棋を見て、私もこのテーマで作ってみたいくなりました。どうやって実現しようかと考えていたら、本作の組み合わせを思いつきました。
意味のない穴の配置が残ってしまったのは反省点です。

★ 奇しくも中編の部 1 位と同じ作者の同じ Imitator 作品が長編の部でも 1 位を獲得しました。題名も見事に作品内容と合致した印象があったようで好評を博しました。

変寝夢 1 位

命名が手順にピッタリ。3 2 は石がいいなあ。

橋本孝治 1 位

すべてのパラメータが所定の値にセットされるまで、「最小公倍数原理」に従ってひたすら盤を巡る Imitator。氏の中編でも Imitator を主役にした作品がありましたが、セットで覚えておきたい作品です。

縫田光司 1 位

Imitator の豊かな可能性を感じさせる作品だと思います。題名もピッタリですね。

占魚亭 1 位

昨年の中編の中で、最も強く印象に残っている作品。

たくぼん 1 位

Imitator の可能性を示した作品。

soga 次点

シンプルな設計で高度な最小公倍数原理を達成している。

**2 位 長 6 一乗谷酔象 2017/6
第 92 回 WFP 作品展 92-13**

18pt

「輪廻の歩」
成禁非王手可天使詰 46715 手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

角	金	銀	王	銀	歩	一
角	香		香	歩		二
桂	桂	王	桂			三
歩	香	歩	歩			四
	歩	香		桂		五
			歩			六
	歩			歩		七
歩	歩	歩	歩	歩	歩	八
歩	歩	歩	歩	歩		九

持駒 歩

作意は WFP114 号 P32~39 をご覧下さい

受賞コメント 一乗谷酔象

本作品は、一手詰の局面で、双方限定された

駒の動きの中、最小公倍数の異なる局面を動かしながら可能な限り延命するものです。フェアリー駒や変則ルールに頼ることなく基本の将棋ルール内で4万手越を限定手順で達成できたことが評価されたのかなと思っています。本ルール専用の解図プログラムを作成いただいた神無次郎さん、検討と詳細解説いただいた神無七郎さん、元図に解答いただいた Pontamon さん、投票して下さった皆様に感謝いたします。

★ 2位には一乗谷酔象氏の超超手数作品。4万5千手を越える内容は圧巻です。

青木裕一 1位

斬新な手数伸ばしパズル。

Pontamon 1位

元図で長手数を見つけたものの作意順がわからなかった作品。この消化不良のため、100-9の「時は金なり3」の解図に力が入った。

橋本孝治 2位

本作は一種の最長経路探索問題ですが、主軸となる機構が奇跡的。最初の60状態の巡回も素晴らしいのですが、舞台を縮小した後も最長経路の唯一性が維持されるのは、驚きとしか言いようがありません。出題時不完全だったので2位としましたが、圧倒的な存在感を持つ作品です。

たくぼん 2位

解けませんでした。主軸の機構が素晴らしいと思います。

縫田光司 3位

私は当然ながら手も足も出なかったのですがそれはさておき、この作品もやはり外せないかと思います。



3位 長17 青木裕一 2017/10 Fairy of the Forest #53-02

14pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			銀						四
		と	馬	雀	ス	と			五
			卒	王	遊				六
			手	手	手				七
			角	桂	と				八
				桂	玉				九

攻方持駒 金14銀16桂
受方持駒 なし

47 と 同全 57 銀 同杏 66 金 同馬 55 金 同と 45 銀 同飛 46 金 同と 55 金 同飛 45 銀 同と 46 金 同全 47 銀 同杏 57 銀 同圭 67 銀 同馬 66 金 同銀 65 銀 同飛 55 金 同と 45 銀 同全 46 金 同杏 47 銀 同圭 57 銀 同銀生 66 金 同飛 65 銀 同と 55 金 同全 45 銀 同杏 46 金 同銀生 57 銀 同馬 67 銀 同飛生 66 金 同馬 57 銀 同飛生 67 銀 同馬 66 金 同全 55 金 同銀 46 金 同圭 48 桂 まで 65 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			銀						四
		と	ス	馬	卒	と			五
			手	王	手				六
			雀	遊					七
			角	桂	桂				八
				桂	玉				九

持駒 なし

受賞コメント 青木裕一

発想の元は広瀬稔氏の看寿賞作。最初は打ち捨てを同一方向に数周する予定だったのですが、それができそうにない部分が数ヶ所あったため、ショートカットを考えるパズルに方針転

換し、考えどころを入れるだけ入れました。それが当たりだったのかもしれませんが。

★ 普通にくるくる回しても解けない。少し？ばかりの工夫がある。その当たりの綾が評価されたと思います。

井上順一 1位

王手は限られるのだが、手順が巧妙。

酒井博久 1位

金銀の駒数により手順が論理的に限定される所が絶妙

占魚亭 2位

発想の転換が必要とされるパズル。昨年発表の通常協力詰長編の中で一番好きです。

橋本孝治 次点

駒の回転の中に、駒の並び順を入れ替えるトリックが仕込まれていて結構悩みました。入れ替えを急ぎすぎると、金不足になるのが良いですね。ただ、駒数を拡張した割には小ぢんまりした印象も受けました。次はこの路線での大作を希望します。

**4位 長3 変寝夢 2017/5
第92回 WFP 作品展 92-10**

5pt

レトロ協力詰 -86+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									●	一
●	●	●	●	●	●	●	●			二
●	●							●		三
●		●	●	●				●		四
●	●		●	●				●		五
●	●	●		●				●		六
●	●	●		●				●		七
●	●	●		●				●		八
				●	●	と		王		九

攻方持駒 なし

受方持駒 金

※●:石 (着手不可、不透過)

29玉 38と 39玉 37と 38玉 36と 37玉 35と 36玉 34と 35玉 33と 34玉 43と 33玉 53と 43玉 63と 53玉 74と 63玉 65と 74

玉 56と 65玉 57と 56玉 58と 57玉 69と 58玉 79と 69玉 89と 79玉 99と 89玉 98と 99玉 97と 98玉 96と 97玉 95と 96玉 94と 95玉 93と 94玉 92と 93玉 91と 92玉 81と 91玉 71と 81玉 61と 71玉 51と 61玉 41と 51玉 31と 41玉 21と 31玉 12と 21玉 13と 12玉 14と 13玉 15と 14玉 16と 15玉 17と 16玉 18と 17玉 29と 18玉 39と 19玉(+18金) 18金持/29金まで-86+1手

Pontamon 2位

長編を解いたという経験をさせてもらったサービス作品。

井上順一 3位

玉の位置をひとつずらすために盤上を一周。狙いが明確でおもしろい。

4位 長7 神無七郎 2017/2

Fairy of the Forest #50-02

5pt

後手の持駒：なし

9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
歩										五
歩		香	玉	歩	歩					六
	歩				香	金				七
銀	歩		歩	歩		歩				八
	香			王	爵	王				九

持駒 角2

48角 同玉 57角 59玉 68角 48玉 57角 59玉 48角 68玉 69歩 79玉 57角 68角 同角 78玉 67角 69玉 58角 78玉 67角 69玉 78角 58玉 67角 48玉 57角 59玉 48角 69玉 78角 同玉 79歩 同玉 57角 68角 同角 同玉 86角 77角 同角 79玉 88角 68玉 77角 79玉 97角 88歩 同角右 68玉 79角 59玉 68角 48玉 57角 59玉 48角 68玉 86角 79玉 97角 同歩成 57角 68角 同角 同玉 86角 77角 同角 79玉 88角 同と 57角 68角 同角 78玉 79歩 同と 67角 69玉 78角 58玉 67

角 48 玉 57 角 59 玉 48 角 69 玉 58 角 68 玉
69 歩 同と 57 角 78 玉 67 角 まで 95 手

酒井博久 2 位

FOF 第 50 回を記念して、角の着手 50 回の力作

変寝夢 3 位

こういった作品を作ってみたい。

6 位 長 9 神無七郎 2017/4

Fairy of the Forest #51-02

3pt

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						歩	科	歩	二
						皇	と		三
						香	香	と	四
							香		五
						玉	香	王	六
							歩	爵	七
									八
									九

持駒 歩3

15 と 同玉 16 歩 14 玉 13 と 同玉 23 香成 14 玉 13 杏 同玉 23 香成 14 玉 13 杏 同玉 23 香成 14 玉 13 杏 24 玉 14 杏 同玉 15 歩 13 玉 14 歩 23 玉 13 歩成 24 玉 23 と 14 玉 24 と 15 玉 25 と 16 玉 26 と 同銀生 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉 15 歩 13 玉 14 歩 23 玉 13 歩成 24 玉 23 と 14 玉 24 と 15 玉 25 と 16 玉 17 歩 同銀成 26 と まで 53 手

井上順一 2 位

銀を成銀に変える。狙いを実現するとすぐ終わるのもよい。



6 位 長 14 神無太郎 2017/7

九路盤は狭すぎる。まして夜を使うとなおさらだ 5 番

3pt

左下無限盤協力詰 319 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							○		一	
							○	王	二	
							○	○	歩	三
									四	
									五	
									六	
									七	
									八	
									九	

攻方持駒なし

受方持駒なし

作意は WFP111 号 P45~46 をご覧ください

変寝夢 2 位

初形を想像してみたが、余りにも遠い夜の配置

6 位 長 15 神無太郎 2016/3

九路盤は狭すぎる。まして夜を使うとなおさらだ 6 番

3pt

1 兆×1 兆盤天使自玉スタイルメイト 958 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
							○		一	
							○	王	二	
							○	○	○	三
									四	
								香	五	
									六	
									七	
									八	
									九	

攻方持駒夜

受方持駒なし

作意は WFP111 号 P47~51 をご覧ください

縫田光司 2位

この作品は（というかこのシリーズ全体をまとめて）流石に票を外せない気がします。

6位 長16 たくぼん 2017/9

はじめに

強欲協力詰 52手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と	王			麩			一
	歩				と		馬		二
	歩				歩	香	と		三
		歩	と		香		と		四
									五
		歩			王	歩			六
	と		角		歩		銀		七
	手	香			香	と			八
	香		と		と				九

持駒 なし

71玉 82歩成 同玉 83歩 同玉 74と 同玉 86桂 同杏 85角 同玉 86と 同玉 88香 同金 78桂 同金 87香 同玉 78と 同玉 68金 同玉 58と 同玉 48と 同玉 38金 57玉 47金 同玉 38銀 36玉 37歩 同全 同銀 同玉 26銀 同玉 25と 同玉 24と 同玉 33馬 同玉 32金 同銀 同と 同玉 41銀 同玉 42歩成 まで 52手

青木裕一 2位

ガチなカープファンのガチな曲詰。



6位 長18 神無七郎 2017/10

Fairy of the Forest #53-03

2pt

協力詰 69手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
			飛	角	金	金	金	角	飛	三
			桂	麩	歩	歩	香		銀	四
			麩			と		桂	王	五
				歩						六
								歩	歩	七
				歩	桂	入	入		歩	八
				銀		手	入	歩	香	九

持駒 香2歩2

16歩 同玉 18香 同金 17歩 15玉 16歩 24玉 35と 同玉 38香 37香 同香 36香 同香 同玉 38香 37香 同香 同玉 38歩 36玉 37歩 35玉 36歩 同玉 39香 38と 同香 37香 同香 同玉 39香 同と 38歩 36玉 37歩 45玉 49香 48と 同香 47香 同香 46香 同香 55玉 58香 同圭 57香 56香 同香 46玉 49香 48圭 同香 47香 同香 同玉 49香 48香 同香 37玉 38歩 27玉 19桂 26玉 27歩 36玉 37香 まで 69手

たくぼん 3位

序の伏線が最後に判明するところが好きです。

酒井博久 次点

序の伏線が巧妙



11位 長1 青木裕一 2017/2
第89回 WFP 作品展 89-5

安南詰 57手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
						香	皇		三
						科	王		四
									五
包									六
			飛						七
								桂	八
								桂	九

持駒 桂香歩
※包:Pao (象棋の包)

16香 同玉 26桂打 86歩 27飛 15玉 16歩
14玉 97飛 16玉 86包 76歩 27飛 15玉 16歩
14玉 87飛 16玉 76包 66歩 27飛 15玉 16歩
14玉 77飛 16玉 66包 56歩 27飛 15玉 16歩
14玉 67飛 16玉 56包 46歩 27飛 15玉 16歩
14玉 57飛 16玉 46包 36角 27飛 15玉 16歩
14玉 47飛 16玉 36包 15玉 27角 25玉 16角
同香 27飛 まで 57手

占魚亭 3位
楽しい趣向作。

11位 長10 神無七郎 2017/7
Fairy of the Forest #52-04

協力詰 67手 (受方持駒なし)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								香	二
								桂	三
						香	香	歩	四
						歩		王	五
						香	桂		六
						歩		皇	七
						香	香	桂	八
								歩	九
								銀	

持駒 飛歩5

2pt

16飛 25玉 15飛 36玉 37歩 同玉 17飛 36玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17香 同玉 37飛 27香 同飛 16玉 17飛 25玉 15飛 36玉 37香 同玉 17飛 27香 同飛 36玉 37歩 35玉 36歩 24玉 25香 15玉 17飛 16香 同飛 25玉 15飛 36玉 37歩 同玉 17飛 27香 同飛 36玉 37飛 25玉 35飛 16玉 17香 同玉 37飛 27香 同飛 16玉 17飛 25玉 15飛 24玉 25香 35玉 36歩 同玉 37歩 35玉 36香 まで 67手

酒井博久 3位
微妙な局面変化は長編の醍醐味

11位 長11 たくぼん 2017/1
強欲な世界 PART 9 ①

2pt

9 8 7 6 5 4 3 2 1

								香	と	一
							銀	歩	と	二
王		角				歩	香	と	三	
ス					飛				四	
香	歩	手				全		香	五	
	ス		龍			ス	香	香	六	
		歩	全		歩	香	香	歩	七	
	香		香		桂		ス	圭	八	
銀		ス	香	香	香	圭			九	

持駒 なし

94飛 同玉 95角成 同玉 86龍 同圭 96歩 85玉 76全 96玉 86全 同玉 78桂 77玉 88銀 78玉 79銀 69玉 78銀 68玉 69歩 同金 同銀 同玉 59金 同玉 49圭 同玉 38角 同玉 28圭 47玉 37圭 同玉 36全 27玉 26全 17玉 16全 同玉 26金 同金 15金 同玉 16歩 同金 14と 同玉 15歩 同金 13と 同玉 14歩 同金 12と 同玉 21銀生 23玉 32銀生 22玉 23歩 33玉 34歩 同玉 43銀生 23玉 24歩 同玉 36桂 23玉 24歩 同金 32銀生 同玉 24桂 31玉 32金 まで 77手

橋本孝治 3位
「強欲な世界」はいつも楽しませて貰って

ますが、難解性より趣向性重視でこちらの方に投票します。質駒に近付く手順より、質駒に近付いて貰う手順の方が面白いのは、どんなルールにも共通していると思います。

【長編部門・総評】

橋本孝治

長編愛好家としては作品数の少なさが残念。作家の皆さんには「新ルールを見たら送り趣向を作れ」を合言葉に、どんどん長編を作って欲しいと思います。

変寝夢

長2が、私のハートにどストライク。

酒井博久

やはり七郎氏作が目立ちますね。

【推理将棋・プルーフゲーム 短編部門】

投票者：橋本孝治、Pontamon、soga、たくぼん、計4名

投票者は4名。来年もよろしくお願ひします。

🌀 1位 推 13 上谷直希 2017/6

詰将棋メモ 第113回出題 第3番
全部馬！ 13手

10pt

「13手目に馬の手で詰みか」

「途中、成駒を含む4枚の駒を取ったのも先手の馬だったよね」

76歩 34歩 22角成 42玉 13馬 33玉 31馬
17香成 53馬 22玉 17馬 11玉 44馬 迄 13手



詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	飛	香		香		科	王	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩		歩		歩		三
					馬	歩			四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩		七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 角銀香歩2

受賞コメント 上谷直希

自作が推理将棋部門で1位とのこと、本当に光栄です。ありがとうございます。派手な手順にできたかなと思っています。就職の影響で創作時間は減ってしまいましたが、また創作頑張らないとなあと身が引き締まる思いですね。最近何もできていないので、ぼちぼち頑張りたいです。

★ 全部馬！という題名と手順がマッチしてインパクト大の作品でした。

Pontamon 1位

意表の17香成や馬の大転回と両王手での詰み上がりが見事な作品。

たくぼん 1位

ダイナミックでした。

🌀 2位 推 24 Pontamon 2017/4

第91回 WFP 作品展 91-1

8pt

「昨日、6手目の棋譜だけで11手詰めの手順を限定できるかなとH氏に話したんだけど…」
「もし、あったとしてもコンピュータの力を借りなければ人間の頭では解けないだろうね」
「ところが、今日、2解あったと言って来たんだ」
「それは凄い、人間業じゃないね」

76歩 42玉 44角 同歩 26歩 43角 25歩 32玉 24歩 42飛 23歩成 まで 11手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	金		金	將	科	皇	一
					飛	王	馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	馬	歩	と	歩	三
					歩				四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

76歩 54歩 44角 同歩 77桂 53角 65桂 42玉 53桂成 32玉 43角 まで 11手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	金		金	將	科	皇	一
	飛					王	馬		二
歩	歩	歩	歩	主	角	歩	歩	歩	三
				歩	歩				四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香		銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント Pontamon

投票ありがとうございます。本作は作品展への初の投稿でしたが、いきなり通常の推理将棋とは毛色の違う作品でした。初投稿で勝手にわからず、いろんな事を書いて投稿したところ数ページに渡る作者解説として載りました。目先が変わっているものだったので印象に残ったのかもしれないね。

★ 何で成立しているのか、とにかく凄い作品というのは分るでしょう。どうやって発想し創るのでしょうか？

橋本孝治 1位

推理将棋を推理する「メタ推理将棋」として強く印象に残っている作品。6手目の情報のみで11手の棋譜を再現できるケースが、「2通りある」ではなく、「2通りしかない」と言い切ったことで、本作の価値が跳ね上がったと思います。

たくぼん 2位

これだけ？の条件で成立するのが驚きの作品

3位 推1 はなさかしろう 2016/11

詰将棋メモ 第108回出題 1番

入れ替え作業のあっけない幕切れ 3手

6pt

「将棋を指していたので覗いてみたんだ」

「うん」

「局面はちょうど、初形配置から一対の駒の位置を入れ替えただけの状態だった」

「へえ。対局中だったということは、二歩や行き所のない駒はなかったんだね？」

「そう。王手放置もなかったよ。」

それで、続けて見ていたんだけど、3手で詰んでしまった」

「なるほど。手間の割にあっけない幕切れだったね。もう少し何か覚えてない？」

「見ていた3手のうちに飛車の手があったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？入れ替わっている駒と手順を教えてください。

入替： 88の先手角と41の後手金。

88飛 72金 52金 迄 3手

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將		王	角	將	科	皇	一
	飛	金		金			馬		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	飛								八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

受賞コメント はなさかしろう

とても嬉しい評をいただき、たいへん光栄です。変則ルールでは2手の先例があり、及びませんでした。3手が作れて良かったです。ずっと手が伸びて楽しめる小品を作りたいと思っています。

★ えっと驚く出題です。インパクトも絶大。

Pontamon 2位

たった3手なのに、目先の変った状況設定に困惑した作品。

たくぼん 3位

とにかくビックリした作品。

soga 次点

設定が面白いだけでなく、飛車の取り扱いが良いアクセントになっている。

4位 推3 金少桂 2016/11

詰将棋メモ 第108回出題 3番

完璧な対策 13手

2pt

「最近友人がよく10手前後で負けて帰ってくるので、明日の対局に備えて対策を考えてきたぞ！」

「どんなの？」

「まず、玉が陣外へふらふら出ていかないこと。二段目より上へ上がるのは危険すぎる。また、最初に玉から動かすのもあまりよくない。」

「確かに玉は守備駒から離れるべきじゃないね。」

「次に、自陣に敵駒が攻め込んでくるのに対処しないのはまずい。自陣に敵駒が侵入してきたらすぐに撃退するんだ。」

「ふむふむ。敵駒の侵入は絶対に許さない、と。」

「そして、最後に駒損しないこと。駒が取られたら、すぐにそれ以上の価値の駒を取り返すことだ。」

「完璧な対策だね！これならきっと勝てるよ！」

翌日

「わ～ん、13手で詰まされた～～。自陣に侵入してきた相手の駒は次の手で必ず取り返し

たし、駒を取られても次の手で必ずそれ以上の価値の駒を取り返し、ちゃんと対策通りにしたのに。初王手でいきなり詰んでるなんて、こんなのないよ～～」

「2手目いきなり飛から動かすのもどうかと思うよ。やっぱり歩から動かすべきだったんじゃない？」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

76歩 64歩 68王 72金 77王 63金 66王 74金 77角 65金 迄 10手

Pontamon 3位

出題時条件での余詰みは見つめたものの作意順が中々わからなかった2016年トリの難問。

5位 推23 上谷直希 2017/2

第89回WFP作品展 89-10

1pt

11手目のピンメイトで詰まされちゃった。

10手目は飛車を成るはじめてのチャンスだったのに

76歩 94歩 66角 93桂 同角成 42玉 83馬 32玉 65馬 42飛 44桂 まで 11手

Pontamon 次点

WFPでは出題が少ない推理将棋だけど、このピンメイトの作品を見てWFPへ解答者として出没するきっかけとなった作品。(第100号記念号への出題はありましたが)

5位 推28 Pontamon 2017/10

第95回WFP作品展 95-13

1pt

「歩の突き合いで始まり、11手で詰んだね」

「駒成はなかったね」

「駒成なしは見るけど、43銀打の棋譜は珍しいよね」

76歩 54歩 44角 42玉 71角生 51金左 41銀 32銀 同銀生 44歩 43銀打 まで 11手

たくぼん 次点

何だか楽しく考えられる作品。

【推理将棋・PG 部門 総評】

橋本孝治

WFP 作品展と「教材に使えるフェアリー作品展」しか見ていないので、その範囲からの投票ですが、Pontamon 氏の「メタ推理将棋」が強烈だったので、これ一作のみの投票としました。これを見た後だと普通の推理将棋が霞んでしまいます。

【総評】

占魚亭

青木さんのファンなのがバレてしまった(笑)

変寝夢

投票する作品を考える作業が大好きです。今年もいろいろあったんだなあ、とふと思ってしまいました。

青木裕一

Fairy TopIX 初投票です。斬新なテーマ、または完成度が高い作を中心に選びました。

酒井博久

FOF しか見ておらず、しかも出題作が少なかったため、長編のみ投票いたします。悪しからず、ご了承ください。

soga

各部門 1 作ずつ投票します。全体を見切れていないのと、あまり点差をつけたくないので、次点票でお願いします。

はなさかしろう

去年は推理将棋から遠ざかってしまい、Fairy に投票するのはおそれ多いのですがせつかくでするので Fairy の短編に投票しようと思います。

- ★ 毎回、推理将棋・PG 部門の投票者が少ないのが気がかりです。詰将棋メモの推理将棋出題もやや滞っている感じで、早く常態化して欲しいと思います。
- ★ 今回は投票締切日になっても投票者数が少なかったため、過去に投票頂いた皆さんにお願いメールをさせて頂きました。そのおかげで何とか例年並みの投票者数となり無事発表することが出来ました。無理な依頼にお応え頂いた

方々、そして投票頂いた皆様には感謝申し上げます。青木氏の3冠で終わった 2017 年ですが、他の作家の皆さんの奮起を期待し 2018 年さらなる傑作の登場を期待します。

高坂研さんの「私のベストテン(番外編)」に、 $4k+1$ 型の素数を2つの整数の平方の和で表す方法が実質的に1通りであることを利用した作品が掲げられています。下記参照。

<http://open.mixi.jp/user/10857363/diary/1966238840>

調べてみたところ、自然数 n を2つの整数の平方の和で表す方法は、 n が

$n=2^a \times p_1^{b_1} \times p_2^{b_2} \cdots p_s^{b_s} \times q_1^{c_1} \times q_2^{c_2} \cdots q_t^{c_t}$
と素因数分解できたとして、 $4(b_1+1)(b_2+1)\cdots(b_s+1)$ 通りであることがわかりました。ただし、 p_i は $4k+1$ 型の素数、 q_i は $4k+3$ 型の素数で、 c_i がすべて偶数の場合です。 c_i が1つでも奇数だと、 n は2つの整数の平方の和では表せません。

この一般的な結果をフェアリー詰将棋にうまく利用できないかと試行錯誤していますが、ただひたすら計算するだけの作しかできていません。とりあえず以下に掲げておきます。

◆第1番

ルール:ボカスカ協力詰 2手

※歩も例外としないボカスカ

使用盤:131×131盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:(66,1)次王

攻方持駒:飛

受方持駒:飛角2金4銀4桂4香4歩18

フェアリー駒「次」:65-Leaper(移動距離が65の八方桂)

蛇足:フェアリー駒の表記を「次」としたのは、 $65=5 \times 13$ と(東海道)五十三次から。

◆第2番

ルール:ボカスカ協力詰 2手

※歩も例外としないボカスカ

使用盤:270×270盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:(1,1)口王

攻方持駒:角

受方持駒:飛2角金4銀4桂4香4歩18

フェアリー駒「口」:Root-71825-Leaper(移動距離が71825の正の平方根の八方桂)

蛇足:フェアリー駒の表記を「口」としたのは、71825の正の平方根がほぼ268.0(以下018656651...)で、偶数の数字のうち4だけがないので、「四欠く」→「四角」から。

※ $71825=5 \times 5 \times 13 \times 13 \times 17$

◆第3番

ルール:ボカスカ協力詰 2手

※歩も例外としないボカスカ

使用盤:11929×11929盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:(4942,1)積王

攻方持駒:香

受方持駒:飛2角2金4銀4桂4香3歩18

フェアリー駒「積」:Root-48828125-Leaper(移動距離が48828125の正の平方根の八方桂)

蛇足:フェアリー駒の表記を「積」としたのは、 $48828125=5^{11}$ なので、偏の画数が5で旁の画数が11であることから。

※ x^y はxのy乗のこと

◆第4番

ルール:ボカスカ打歩詰 1手

※歩も例外としないボカスカ

使用盤:552429×552429盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:(1,1)互王

攻方持駒:歩18

受方持駒:飛2角2金4銀4桂4香4

フェアリー駒「互」:Root-305175781250-Leaper(移動距離が305175781250の正の平方根の八方桂)

蛇足:フェアリー駒の表記を「互」としたのは、 $305175781250=2 \times 5^2 \times 2^2$ なので、部首が「二」であることと、読みが「ご」であることから。

◆第5番

ルール:ボカスカ詰 1手

使用盤:8×8盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:11髪王

攻方持駒:桂4

受方持駒:飛2角2金4銀4香4歩18

フェアリー駒「髪」:Torus-Root-73-Leaper(移動距離が73の正の平方根の八方桂。ただし盤がまるでトーラス盤であるかのように動き、各利きは盤内にある)

蛇足:フェアリー駒の表記を「髪」としたのは、髪型の七三分けから。

◆第6番

ルール:協力詰 5手

使用盤:通常の9×9盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:19賭王

攻方持駒:金3

受方持駒:飛2角2金銀4桂4香4歩18

フェアリー駒「賭」:Torus-RSA-220-Leaper(移動距離がRSA-220の八方桂。ただし盤がまるでトーラス盤であるかのように動き、各利きは必ず盤内にある)
RSA-220=

226013852620340578494165404861019751350803
891571977671832119776810944564181796667660
859312130658257725063156288667697044807000
181114971186300211248792819948748206607013
106658664608332798280356037920539198013994
6496955261

=
686365641226756627438237149928843780013084
223997916484462124499332154106144146426679
38213644208420192054999687

×
329290743948634981204930154921293529191645
519653623395246268605116929034930946524633
37824866390738191765712603

RSA-220 の出展:

https://en.wikipedia.org/wiki/RSA_numbers

蛇足:フェアリー駒の表記を「賭」としたのは、Torus-RSA-220-Leaper=

{(0,1)+(0,8)}-Leaperなので、移動距離が「一か八か」から。

◆第7番

ルール:協力詰 5手

使用盤:通常の9×9盤

攻方盤駒:なし

受方盤駒:19 肚王

攻方持駒:銀 3

受方持駒:飛 2 角 2 金 4 銀桂 4 香 4 歩 18

フェアリー駒「肚」:Torus-LKPN-2017-Leaper(移動距離がLKPN-2017の八方桂。ただし盤がまるでトラス盤であるかのように動き、各利きは必ず盤内にある)

LKPN-2017=2⁷⁷²³²⁹¹⁷-1

LKPN-2017の出展:

https://en.wikipedia.org/wiki/Largest_known_prime_number

蛇足:フェアリー駒の表記を「肚」としたのは、Torus-LKPN-2017-Leaper=

{(0,2)+(0,7)}-Leaperなので、移動距離が「2番目の曜日」と「7番目の曜日」から。

以下作意です。計算間違い等がありましたらお知らせください。

宛先:sgr03057@nifty.com

なお、「八方桂」という表現を使っていますが、各フェアリー駒の跳躍方向が八方向に限らないことをご承知の通りです。

◆第1番

{(1,1),(3,17),(6,26),(10,34),(14,40),(27,53),

(33,57),(41,61),(50,64),(82,64),(91,61),(99,57),
(105,53),(118,40),(122,34),(126,26),(129,17),
(131,1)}歩 (66,2)飛 まで 2手

◆第2番

{(2,269),(41,266),(66,261),(77,258),(105,248),
(128,237),(161,216),(170,209),(189,192),
(192,189),(209,170),(216,161),(237,128),
(248,105),(258,77),(261,66),(266,41),
(269,2)}歩 (2,2)角 まで 2手

◆第3番

{(192,5126),(1352,5996),(1817,6251),
(2300,6470),(3692,6876),(4217,6951),
(5667,6951),(6192,6876),(7584,6470),
(8067,6251),(8532,5996),(9692,5126),
(10067,4751),(10937,3591),(11192,3126),
(11411,2643),(11817,1251),(11892,726)}歩
(4942,2)香 まで 2手

◆第4番

{(1,2),(36426,551227),(78126,546877),
(119376,539377),(189312,518979),
(228126,503127),(265626,484377),
(301596,462837),(359876,419127),
(390626,390627),(419126,359877),
(462836,301597),(484376,265627),
(503126,228127),(518978,189313),
(539376,119377),(546876,78127),
(551226,36427)}歩 まで 1手

◆第5番

{23,26,28,53}桂 まで 1手

◆第6番

18 金 同賭 17 金 28 賭 39 金 まで 5手

◆第7番

28 銀 12 肚 13 銀 32 肚 43 銀 まで 5手

以上

議員 将棋の八大タイトル戦の開催に取り組むとのことですが、地域活性化に つなげる意味でも非常に興味深い取り組みと評価します。将棋振興の取り組みを市の発展にどうつなげるのか、お聞きします。

将棋振興の
取り組みによる
地域活性化を

市長 全国に約160名おられる現役プロ棋士の中に6名もの本市ゆかりの方がおられ、平成29年も本市出身・在住の方が新たにプロ棋士となられていることなどから、地域活性化等のツールとして将棋を活用するものです。今後、将棋が本市の魅力発信のコンテンツとなるよう、八大タイトル戦の誘致に注力し、普及啓発事業の実施など将棋の振興に取り組みます。

上は「たかつき市議会だより平成30年3月定例会号（平成30年5月1日発行）」(<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/shigikai/shigikaidayori/shigikaidayori.html>)の一節です。どうやら高槻市はタイトル戦の誘致を検討しているようです。平成29年にプロ棋士になった方というのは古森悠太四段のことを指しているわけですが、昨今の将棋ブームに加え、新プロ棋士の誕生が誘致の気運を高めるきっかけになったのは間違いなさそうです。

タイトル戦誘致を実現するには、普段から大小様々な将棋イベントを行って、ノウハウを蓄積することが必要でしょう。既に子供向けの将棋教室などは行われているようですが、今後どのような動きがあるか注視したいと思います。もし、詰棋人にも関係しそうなイベントがあったら報告します。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2018年6月15日(金)

第101回 WFP 作品展

フェアリー作品 12題

推理将棋 2題

Fairy of the Forest #55

協力詰 2題

2018年7月15日(日)

第100回 WFP 作品展 解答延長

フェアリー作品 3題

2018年8月15日(水)

第102回 WFP 作品展

フェアリー作品 3題

作品募集締切一覧

WFP10周年記念

安南詰の長手数作品を募集します。大野孝氏の作品集にも記載がありますが現在の安南詰の最長手数は出口信男作の53手です。これは余りにも短すぎると思いますので、この手数を越える作品を募集します。

- ・標準駒数での安南詰（協力詰ではありません）
- ・双玉可
- ・手数は55手以上
- ・投稿先はたくぼんまで（アドレスは↓）
- ・投稿締切は2018年7月15日

2018年 第119号

Web Fairy Paradise

非売品

平成三十年五月号

平成三十年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合せ先 takuji@dokidoki.ne.jp